

EUの電気駆動車オーナーインベージョンプロジェクト
(研究開発編／実証試験編)

2010-2017

目次

第1部【研究開発編】

ALIVE	1
AMBER-ULV	2
ARMEVA	3
ASTERICS	4
AUTOMICS	5
AVTR	6
BATTERIES2020	7
BEHICLE	8
COSIVU	9
COTEVOS	10
DEMOT EST-EV	11
eCo-FEV	12
eDAS	13
EMDA_LOOP	14
EMERALD	15
ENLIGHT	16
EPSILON	17
EUNICE	18
EUROLIS	19
EVolution	20
FABRIC	21
FastInCharge	22
FREE-MOBY	23
GASTONE	24
GO4SEM	25
HEMIS	26
ICAB	27
iCOMPOSE	28
IMPROVE	29
INCOBAT	30
LISSEN	31
MAG-DRIVE	32

MARS-EV	33
MAT4BAT	34
MATISSE	35
MEMLAB	36
MOBINCITY	37
NECOBAUT	38
ODIN	39
OPTIMORE	40
PLUS-MOBY	41
PowerUp	42
SafeAdapt	43
SafeEV	44
Smart EV-VC	45
SPEED	46
STABLE	47
SYRNEMO	48
UNPLUGGED	49
URBAN- EV	50
VENUS	51

第 2 部【実証試験編】

αDSM	52
AMPERE	53
BAEPS	54
BEAMS	55
BMVBS	56
Bodensee Emobil	57
Citymobil2	58
Cologn E-mobil II	60
COMPETT	61
DaBrEm	62
Dynamische induktive Energieübertragung	63
Ebridge	64
E-Carflex Business	65
E-FACTS	66

E-Fleet	67
E-GOMOTION	68
e-harbours	69
Electric Urban Freight Transport	70
elektromobilisiert.de	71
ELENA II	72
ELEVTRA	73
eMAP	74
eMERGE	75
eMiO	76
EMIS	77
E-Mobility NSR	78
eMOMA	79
EMOTIF	80
e-MoVe	81
ENEVATE	82
e-pendler	83
EV pilot project of the CEZ Group	84
eQuartier Hamburg	85
EVite	86
EV-STEP	87
EVUE	88
FREE-Freizeit	89
FREVUE	90
GREEN HIGHWAY	91
Grüne Mobilitätskette	92
Langstrecken-Elektromobilität	93
Leben im Westen	94
Life+ DemoEV	95
MOBILITY 2.0	96
Modellregion Hamburg: Hamburg-Wirtschaft am Strom	97
MyWay	98
NEA	99
NeMoLand	100
PLANGRIDEV	101
Port PVEV	102

PraxPerform E	103
PRIMOVE	104
QS InfraPlan e-mobil	105
RiParTi	106
RUHRAUTOe	107
SCELECTRA	108
SELECT	109
SMARTFUSION	110
Source West	111
Sozialwissenschaftliche und ökologische Begleitforschung	112
SPEED FOR SME's	113
STRAIGHTSOL	114
TeBALE	115
THELMA	116
TROLLEY	117
UI EIMo	118
W-eTaxi	119
ZEEUS	120
Zem2All	122
ZENEM	123
Zero-Emission Urban Distribution	124

第 1 部【研究開発編】

ALIVE

Advanced High Volume Affordable Lightweighting for Future Electric Vehicles

未来の電気自動車のための先進的で実現可能な軽量化

当該プロジェクトでは、低価格で量産できる次世代EVの実現に向け、車両重量を大幅に削減できる実用的な材料と設計のコンセプトを開発する。

コーディネーター	Jens Meschke
研究機関（国名）	フォルクスワーゲン（ドイツ）
ホームページ	www.project-alive.eu www.seam-cluster.eu
実施期間	2012年10月1日～2016年9月30日
助成枠組み	FP7
研究対象	車両
助成母体	EU

プロジェクトパートナー：

- フォルクスワーゲン（ドイツ）
- フィアット中央研究所（イタリア）
- ルノー（フランス）
- Faurecia（フランス）
- Forschungsgesellschaft Kraftfahrzeugbau mbH Aachen（ドイツ）
- KU Leuven（ベルギー）
- LMSインターナショナル（ベルギー）
- フラウンホーファー構造耐久性・システム信頼性研究所（LBF）（ドイツ）
- ジャガーカーズLtd.（英国）
- ボルボテクノロジー（スウェーデン）
- Magna Steyr（オーストリア）
- PEインターナショナル（ドイツ）
- Fundacion Cidaut（スペイン）
- ダイムラー（ドイツ）
- ポルシェエンジニアリング（ドイツ）
- オーストリアメタル（オーストリア）
- Voestalpine Stahl（オーストリア）
- ジョージフィッシャー・オートモーティブ（スイス）
- ブラウンシュヴァイク工科大学（ドイツ）
- ベンテラーオートモビルテクニク（ドイツ）
- Bax & Willems（スペイン）
- Cosma Engineering Europe（オーストリア）
- Magna Exteriors & Interiors（オーストリア）



画像出所：プロジェクトHP

AMBER-ULV

Automotive Mechatronic Baseline for Electric Resilient Ultra-Light Vehicle

超軽量EVのための自動車メカトロニクスのベースライン

超軽車両（ULV）は車両質量当たりの輸送能力に優れているだけでなく、軽量であるため、走行性能を向上させることも容易である。ただ、通常の車両と同じ道路を走行するには、安全基準をクリアするために、技術上の複雑な課題を解決する必要がある。

電池のみで走行するピュアEVの価格は従来のガソリン車に比べ1万5,000ユーロも高い。消費者は新車を購入する際に、購入価格、減価償却率、スタイリング、性能と操作性、ブランドの好み、社会的ステータスなど多岐に渡る項目を吟味する。その際には、走行コストが過小評価される傾向がある。また、燃料費や税金、保険についてはよく吟味するが、アフターサービスや修理のコストや減価償却費などについてはあまり考慮されない。EVのコストを他の車両と比較する際は、総保有コスト（TCO）にこそ目を向けるべきである。当該プロジェクトでは、成功裏に終了した研究開発プロジェクトの結果をもとに革新的なコンセプトの開発と統合を目指す。

コーディネーター	Gian Mauro Maneia
研究機関（国名）	CES CENTRO STUDI INDUSTRIALI SRL （イタリア）
ホームページ	https://cordis.europa.eu/project/rcn/109540_en.html
実施期間	2013年7月1日～2016年6月30日
助成枠組み	FP7
研究対象	車両
助成母体	EU

プロジェクトパートナー：

- CESI（イタリア）
- フ라운ホーファー研究機構（ドイツ）
- オランダ応用科学研究機構（オランダ）
- ボローニャ大学（イタリア）
- Formtech Composite Ltd.（英国）
- Sherpa Engineering SA（フランス）
- NTUインターナショナルAPS（デンマーク）
- E.O.S SPA（イタリア）
- Nova SRL（イタリア）
- LMS Imagine SA（フランス）



画像出所：プロジェクトHP



ARMEVA

Advanced Reluctance Motors for Electric Vehicle Applications

電気自動車適用のための高度なリラクタンスモーター

大規模にEVを普及させるためには、次世代の電気駆動システムは、エネルギー効率と出力密度を向上させ、製造／リサイクルコストを削減するとともに、レアアースへの依存から脱却することが求められる。当該プロジェクトは、レアアースフリーの高度な次世代リラクタンスモータの開発を目指す。

プロジェクトの目的としては、リラクタンスモータのマルチフィジックスシミュレーション（連成解析）モデルの開発、次世代EV用の最適なモータトポロジーを選択するための比較評価、統合された電気駆動システムの開発が挙げられる。制御ソフトウェア、パワーエレクトロニクスおよび電気モーターから成るシステム全体を統合し、車両プラットフォームで検証する。

コーディネーター	Saphir Faid
研究機関（国名）	PUNCH POWERTRAIN NV （ベルギー）
ホームページ	http://www.armeva-project.eu/
実施期間	2013年11月1日～2016年4月30日
助成枠組み	FP7
研究対象	制御装置
助成母体	EU

プロジェクトパートナー：

- Punch Powertrain（ベルギー）
- LMSインターナショナルNV（ベルギー）
- Prodrive BV（オランダ）
- TekShift GmbH（ドイツ）
- LMSイマジン（フランス）
- アイントホーフェン工科大学（オランダ）
- クルジュ＝ナポカ技術大学（ルーマニア）



画像出所：プロジェクトHP



ASTERICS

Ageing and efficiency Simulation & TEsting under Real world conditions for Innovative electric vehicle Components and Systems

実環境下における革新的なEV用部品・システムの老化・効率シミュレーション&検査

当該プロジェクトは、数値シミュレーションツール、バーチャル・プロトタイピング、高度な物理試験の手順の開発と検証、さらにはこれらのツールの標準化を目指す。

コーディネーター	Horst Pflügl
研究機関（国名）	AVL LIST（オーストリア）
ホームページ	http://www.asterics-project.eu/
実施期間	2012年10月1日～2015年9月30日
助成枠組み	FP7
研究対象	その他
助成母体	EU

プロジェクトパートナー：

- AVL List（オーストリア）
- フィアット中央研究所（イタリア）
- FH JOANNEUM（オーストリア）
- Gustav Klein（ドイツ）
- LMSインターナショナル NV（ベルギー）
- LMS IMAGINE（ベルギー）
- THIEN eDrives（オーストリア）
- リュブリャナ大学（スロベニア）
- フィレンツェ大学（イタリア）
- ボルボテクノロジー（スウェーデン）



画像出所：プロジェクトHP

AUTOMICS

Pragmatic solution for parasitic-immune design of electronics ICs for automotive

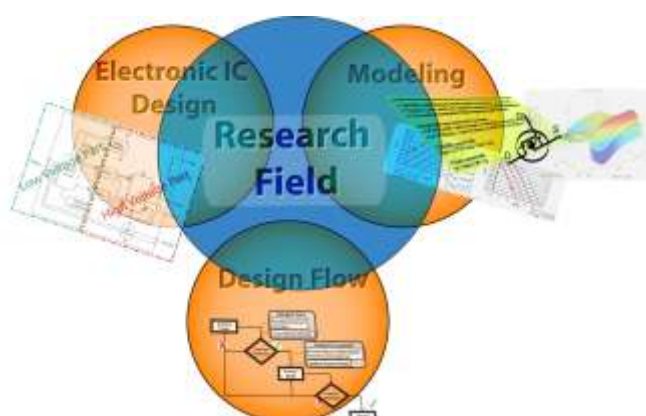
車載ICのパラジティック=イミューンデザインに向けた実用的なソリューション

当該プロジェクトでは、革新的なコンピュータ支援設計ツールにより、回路の設計、モデリング、実装をリンクさせる。同一チップ上に高電圧のパワーステージと低電圧のアナログ／デジタルブロックとを統合した車載用スマートパワーICを、高温下で安定的に動作させることが課題となる。

コーディネーター	Ramy Iskander
研究機関（国名）	パリ第6大学（フランス）
ホームページ	https://egvi.eu/projectslist/4/37/AUTOMICS
実施期間	2012年7月1日～2015年8月31日
助成枠組み	FP7
研究対象	制御
助成母体	EU

プロジェクトパートナー：

- パリ第6大学（フランス）
- コンティネタル・オートモーティブ・フランスSAS（フランス）
- スイス連邦工科大学ローザンヌ校（スイス）
- オーストリアマイクロシステムズ（オーストリア）
- STMicroelectronics srl（イタリア）
- ヴアレオ（フランス）
- AdMOS（ドイツ）
- CNRS LAAS（フランス）



画像出所：プロジェクトHP



AVTR

Optimal Electrical Powertrain via Adaptable Voltage and Transmission Ratio

調節可能な電圧量と速度伝達比による最適電力パワートレイン

当該プロジェクトでは、システム全体として最適化された完璧な電力パワートレインの開発に取り組む。◇最先端の固定変速比モードで街乗りした場合にも、最大20%のエネルギー削減を可能にする◇マルチ・レシオズ・トランスミッションに統合するには適さないため、永久磁石モーターの使用は避ける、ことを掲げている。

コーディネーター	Giuseppe Catona、Marco Ottella
研究機関（国名）	BITRON（イタリア）
ホームページ	https://cordis.europa.eu/project/rcn/104074_en.html
実施期間	2012年5月1日～2015年4月30日
助成枠組み	FP7
研究対象	制御、電気モーター、エネルギー貯蔵
助成母体	EU

プロジェクトパートナー：

- Bitron（イタリア）
- ST Microelectronics（イタリア）
- ワルシャワ工科大学（ポーランド）
- フラウンホーファー集積システム・デバイス技術研究所（IISB）（ドイツ）
- Oerlikon-Graziano（イタリア）
- Polimodel（イタリア）
- CISCセミコンダクター（オーストリア）
- IFEVS（イタリア）



画像出所：www.pressebox.com



画像出所：http://www.electrive.com/tag/schaeffler/schaeffler/

BATTERIES2020

TOWARDS REALISTIC EUROPEAN COMPETITIVE AUTOMOTIVE BATTERIES

現実的で競争力のある欧州製電気駆動車用バッテリーの開発

当該プロジェクトは、並行して実施される3つの戦略から成る：◇高度に焦点を絞った材料開発◇経時変化や劣化現象の解明◇バッテリーコストの削減手段

コーディネーター	Chris Merveille
研究機関（国名）	IKERLAN（スペイン）
ホームページ	http://www.batteries2020.eu
実施期間	2013年9月1日～2016年8月31日
助成枠組み	FP7
研究対象	エネルギー貯蔵
助成母体	EU

プロジェクトパートナー：

- IKERLAN（スペイン）
- フィアット中央研究所 SPCA（イタリア）
- オールボー大学（デンマーク）
- ブリュッセル自由大学（ベルギー）
- Umicore SA（ベルギー）
- LeClanche SA（スイス）
- Abengoa Research SL（スペイン）
- アーヘン工科大学（ドイツ）
- Kellen Europe S.A.（ベルギー）



画像出所：プロジェクトHP



BEHICLE

BEST in class HIRIKO vehiCLE: Safe urban mobility in a sustainable transport value-chain

持続可能な輸送バリュー・チェーンにおける安全な都市の移動手段

当該プロジェクトでは、既存の「IEM QBEAKカー」をバージョンアップし、安全かつ軽量、高性能な都市型電気自動車（EV）を開発する。

コーディネーター	Inaki Eguia Ibarzabal
研究機関（国名）	TECNALIA RESEARCH & INNOVATION （スペイン）
ホームページ	https://behicle.eu/content/home
実施期間	2013年11月1日～2017年4月30日
助成枠組み	FP7
研究対象	車両
助成母体	EU

プロジェクトパートナー：

- TECNALIA RESEARCH & INNOVATION（スペイン）
- INSERO E-MOBILITY AS（デンマーク）
- ベルリン工科大学（ドイツ）
- TRL LIMITED（英国）
- BUSINESS INNOVATION BROKERS S. COOP（スペイン）
- グルーポアントリニイタリアSRL（イタリア）
- TRWオートモーティブ（ドイツ）



画像出所：プロジェクトHP



COSIVU

Compact, Smart and Reliable Drive Unit for Fully Electric Vehicles

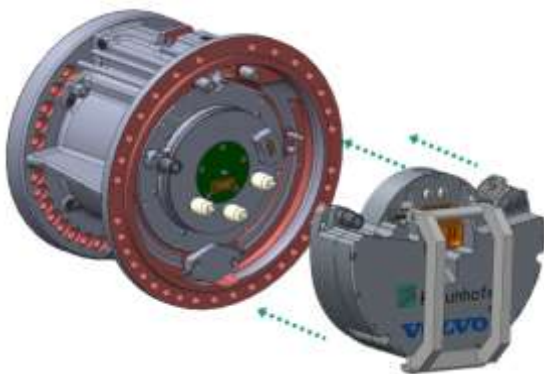
フルEVのためのコンパクトでスマートな高信頼型駆動装置

スマートかつコンパクトで耐久性のある一輪駆動ユニットの開発を通じて、ドライブレイン用の新システム構築を目指す。この一輪駆動ユニットは、電動モータ、コンパクト変速機、SiCパワーエレクトロニクス、ワイヤレス通信機能付の最新の制御健全性監視モジュールならびに高度な超小型冷却装置を備えている。

コーディネーター	Dag Andersson
研究機関（国名）	SWEREA IVF AB（スウェーデン）
ホームページ	http://www.cosivu.eu
実施期間	2012年10月1日～2015年9月30日
助成枠組み	FP7
研究対象	制御、熱管理
助成母体	EU

プロジェクトパートナー：

- Swerea IVF AB（スウェーデン）
- ボルボテクノロジーAB（スウェーデン）
- TranSiC AB TSC（スウェーデン）
- Hella Fahrzeugkomponenten（ドイツ）
- Sesitec（ドイツ）
- Elaphe d.o.o.（スロベニア）
- ベルリナー・ナノテスト&デザイン（ドイツ）
- フ라운ホーファー研究機構（ドイツ）
- ケムニッツ工科大学（ドイツ）



COSIVUインバータ、出所：<http://www.egvi.eu>



画像出所：<http://www.egvi.eu>

COTEVOS

CONcepts, Capacities and Methods for Testing EV systems and their interOperability within the Smartgrids

EVシステムとスマートグリッドにおけるその運用性を検査するための概念・能力・方法

当該プロジェクトは、複数の異なるEV用スマート充電インフラ間で適合性や相互運用性、パフォーマンスが保たれるかテストするために最適な構造を開発することを目指す。

コーディネーター	Eduardo Zabala
研究機関（国名）	FUNDACION TECNALIA RESEARCH & INNOVATION（スペイン）
ホームページ	http://cotevos.eu/
実施期間	2013年9月1日～2016年2月29日
助成枠組み	FP7
研究対象	その他
助成母体	EU

プロジェクトパートナー：

- TECNALIA（スペイン）
- オーストリア技術研究所（AIT）（オーストリア）
- ALTRA SPA（イタリア）
- DERlab European Distributed Energy Resources Laboratories eV（ドイツ）
- DTUデンマーク工科大学（デンマーク）
- ETREL svetovanje in druge storitve d.o.o.（スロベニア）
- フラウンホーファー風力エネルギーシステム研究所（IWES）（ドイツ）
- TUL in Politechnika Lodzka（ポーランド）
- RSE-Ricerca sul Sistema Energetico（イタリア）
- TNO（オランダ）
- ZSDis Zapadoslovenska Distribucna as（スロバキア）



画像出所：プロジェクトHP



DeMoTest-EV

DEsign, MOdelling and TESTing tools for Electrical Vehicles powertrain drives

EVパワートレイン用デザイン・モデリング・テスト用ツール

当該プロジェクトでは、コンセプトモデリングを改善し、EVのパワートレインから発生するノイズと振動の予測精度を高めるために、高度な設計・モデリング・テストツールを開発することを目指す。

コーディネーター	Claudia Martis
研究機関（国名）	クルジュ＝ナポカ技術大学 （ルーマニア）
ホームページ	https://cordis.europa.eu/result/rcn/173602_en.html
実施期間	2013年1月1日～2016年12月31日
助成枠組み	FP7
研究対象	その他
助成母体	EU

プロジェクトパートナー：

- クルジュ＝ナポカ技術大学（ルーマニア）
- シーメンス・インダストリーソフトウェア AV（ベルギー）
- ブリュッセル自由大学（ベルギー）
- Institutul de Cercetari Electrotehnice（ルーマニア）



画像出所：プロジェクトHP



eCo-FEV

efficient Cooperative infrastructure for Fully Electric Vehicles

フルEV用の効率的な協調型インフラ

当該プロジェクトは、フルEVを協調型ITSに統合することを目指す。具体的には、道路ITインフラやEVのバックエンドインフラ、充電インフラなどのフルEVに関連する複数のインフラシステム間の接続とデータ交換を可能にする統合ITプラットフォームの開発を提案する。

コーディネーター	Massimilian Lenardi
研究機関（国名）	日立ヨーロッパ（英国）
ホームページ	http://www.eco-fev.eu/
実施期間	2012年9月1日～2015年5月31日
助成枠組み	FP7
研究対象	その他
助成母体	EU

プロジェクトパートナー：

- 日立ヨーロッパ（英国）
- EICT（ドイツ）
- ルノー（フランス）
- フィアット中央研究所（イタリア）
- Conseil General de l'Isère（フランス）
- SITAF（イタリア）
- ENERGRID（イタリア）
- CEA（フランス）
- Politecnico di Torino（イタリア）
- TUベルリン（ドイツ）
- Bluethink（イタリア）
- FACIT（ドイツ）
- IERC（ドイツ）



画像出所：プロジェクトHP





eDAS

Holistic Energy Management for third and fourth generation of EVs

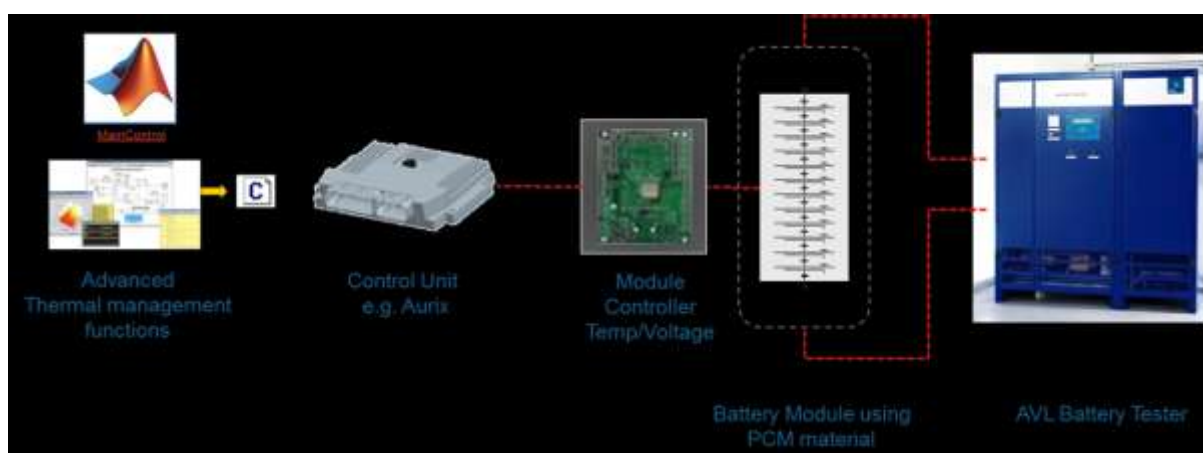
第3、4世代のEV向けの総合的なエネルギー管理

外気が高温または低温の環境では現在、EVの航続距離が半減してしまう。同プロジェクトではこれを2割の減少にとどめることを目標とする。これは、現在の最先端レベルを60%改善することに相当する。

コーディネーター	Reiner John
研究機関（国名）	インフィニオンテクノロジーズAG （ドイツ）
ホームページ	http://www.edas-ev.eu/
実施期間	2013年10月1日～2016年9月30日
助成枠組み	FP7
研究対象	熱管理
助成母体	EU

プロジェクトパートナー：

- インフィニオンテクノロジーズAG（ドイツ）
- AVL Software and Functions GmbH（ドイツ）
- フ라운ホーファー（ドイツ）
- ドレスデン工科大学（ドイツ）
- アムベルク=ワイデン応用科学大学（ドイツ）
- GEMAC（ドイツ）
- インフィニオンテクノロジーズ（オーストリア）
- AVL LIST GmbH（オーストリア）
- グラーツ工科大学（オーストリア）
- Kompetenzzentrum - Das Virtuelle Fahrzeug, Forschungs-gesellschaft mbH（オーストリア）
- Valeo Systemes de Controle Moteur（フランス）
- Hutchinson SA（フランス）
- IDEAS & MOTION S.R.L.（イタリア）
- シーメンスAG（ドイツ）
- ダイムラーAG（ドイツ）



画像出所：プロジェクトHP



EMDA_LOOP

OPTIMAL LOW-NOISE ENERGY-EFFICIENT ELECTRICAL MACHINES AND DRIVES FOR AUTOMOTIVE APPLICATIONS

低ノイズかつ省エネな自動車用電子機器と駆動部品

当該プロジェクトは自動車用電子機器・駆動部品の分野において、技術に関するノウハウを強化し、知識の移転を促すことを主な目的としている。

コーディネーター	Claudia Martis
研究機関（国名）	クルジュ＝ナポカ技術大学
ホームページ	http://cordis.europa.eu/project/rcn/106670_en.html
実施期間	2013年1月1日～2016年12月31日
助成枠組み	FP7
研究対象	その他
助成母体	EU

プロジェクトパートナー：

- クルジュ＝ナポカ技術大学（ルーマニア）
- Brose Fahrzeugteile GmbH & Co. Kommanditgesellschaft（ドイツ）

EMERALD

Energy ManagEment and RechArging for efficient eElectric car Driving

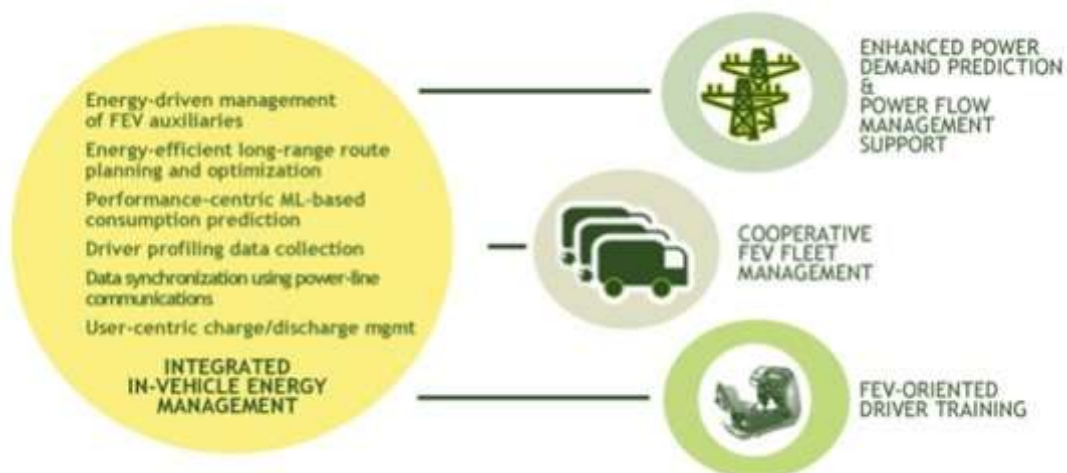
効率的にEVを運転するためのエネルギー管理と充電

当該プロジェクトでは、フルEVを交通・エネルギーインフラにシームレスに統合し、エネルギー使用の最適化を図る。

コーディネーター	Marco Boero
研究機関（国名）	SOFTECO SISMAT SRL（イタリア）
ホームページ	http://www.fp7-emerald.eu/
実施期間	2012年10月1日～2015年9月30日
助成枠組み	FP7
研究対象	制御
助成母体	EU

プロジェクトパートナー：

- Softeco Sismat Srl（イタリア）
- PININFARINA（イタリア）
- TEMSA Global（トルコ）
- PTV Planung Transport Verkehr AG（ドイツ）
- TECNALIA Research & Innovation（スペイン）
- HI-IBERIA Ingenieria Y Proyectos SL（スペイン）
- Instytut Transportu Samochodowego - Motor
- Transport Institute（ポーランド）
- Institute of Communication and Computer Systems（ギリシャ）
- COSMOTE Mobile Telecommunications SA（ギリシャ）
- MICRO-VETT（イタリア）
- 日産モトール・イベリカ（スペイン）
- パブリック・パワー・コーポレーション（ギリシャ）



画像出所：プロジェクトHP

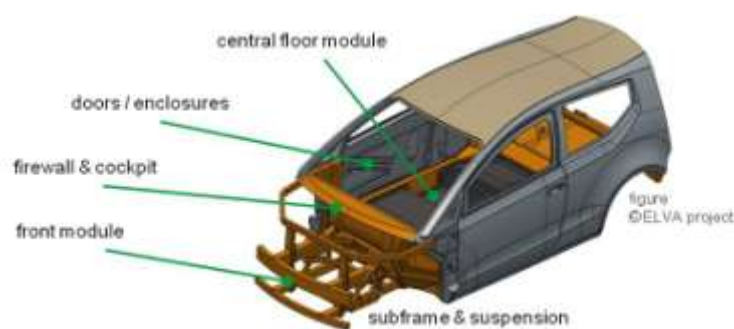
ENLIGHT

Enhanced Lightweight Design

軽量デザインの改良

当該プロジェクトは、革新的な材料（熱硬化性材料、熱可塑性材料、バイオベース材料、ハイブリッド材料）に関する技術開発を加速することを目指す。車両の軽量化や総カーボンフットの削減に貢献するこれらの材料は、2020年～25年に中高容量EVに実装することを目標とする。

コーディネーター	Thilo Bein
研究機関（国名）	フラウンホーファー構造耐久性・システム信頼性研究所（LBF）（ドイツ）
ホームページ	http://www.project-enlight.eu
実施期間	2013年10月1日～2016年9月30日
助成枠組み	FP7
研究対象	車両
助成母体	EU



画像出所：プロジェクトHP

プロジェクトパートナー：

- フラウンホーファー構造耐久性・システム信頼性研究所（LBF）（ドイツ）
- フォルクスワーゲン（ドイツ）
- フィアット中央研究所（イタリア）
- ルノー（フランス）
- Bax & Willems（スペイン）
- Sistemas y procesos avanzados(SISPA)（スペイン）
- アーヘン工科大学自動車研究所（ドイツ）
- KU Leuven（ベルギー）
- ジャガーカーズ Ltd（英国）
- ボルボテクノロジー（スウェーデン）
- Benteler Automobiltechnik（ドイツ）
- Instituto de Engenharia Mecanica(IDMEC)（ポルトガル）
- Leichtmetall Kompetenzzentrum Ranshofen(AIT-LKR)（オーストリア）
- Swerea SICOMP（スウェーデン）
- Sistemi Sospensioni Marelli（イタリア）
- ウォーリック大学（英国）
- Tecnar（ドイツ）
- DSM Ahead（オランダ）
- フィレンツェ大学（イタリア）
- Oxeon（スウェーデン）
- Airborne Technology Center（オランダ）

EPSILON

small Electric Passenger vehicle with maximized Safety and Integrating a Lightweight Oriented Novel body architecture

安全性を最大限に追求した小型電気乗用車と軽量向け新型車両構造の統合

当該プロジェクトは、2020年～2025年の実用化を視野に、街乗り用小型EVのコンセプトを練り、プロトタイプを作成する。街乗り特有の課題を克服した革新的なEVを開発することが焦点となる。

コーディネーター	Kristian Seidel
研究機関（国名）	FKA FORSCHUNGSGESELLSCHAFT KRAFTFAHRWESEN MBH AACHEN （ドイツ）
ホームページ	http://www.epsilon-project.eu
実施期間	2013年11月1日～2016年10月31日
助成枠組み	FP7
研究対象	車両
助成母体	EU

プロジェクトパートナー：

- Forschungsgesellschaft Kraftfahrwesen mbH Aachen（ドイツ）
- Kompetenzzentrum - Das Virtuelle Fahrzeug, Forschungsgesellschaft mbH（オーストリア）
- フィアット中央研究所SCPA（イタリア）
- オートリブ開発 AB（スウェーデン）
- HPL Prototypes LTD（英国）
- グラーツ工科大学（オーストリア）
- フラウンホーファー構造耐久性・システム信頼性研究所（LBF）（ドイツ）
- LEC 2 Limited（英国）
- アーヘン工科大学自動車研究所（ドイツ）



画像出所：プロジェクトHP



EUNICE

Eco-design and Validation of In-Wheel Concept for Electric Vehicles

電気自動車向けインホイールコンセプトのエコデザインと検証

当該プロジェクトでは、マクファーソン式コーナーススペンション・トポロジーをベースにしたインホイールモーターに使われる全ての組み立て部品（電気モーター・パワーエレクトロニクス・減速装置・構造部品とホイール）のプロトタイプを、設計、開発、検証する。

コーディネーター	Alberto Peaa
研究機関（国名）	FUNDACION TECNALIA RESEARCH & INNOVATION（スペイン）
ホームページ	http://www.eunice-project.eu
実施期間	2012年9月1日～2015年8月3日
助成枠組み	FP7
研究対象	電気モーター、車両
助成母体	EU

プロジェクトパートナー：

- Fundacion Technalia Research & Innovatio（スペイン）
- GKN Evo Drive Systems Limited（英国）
- Sistemi Sospensioni SPA（イタリア）
- インフィニオンテクノロジーズ AG（ドイツ）
- Fundacion AIC Automotive Intelligence Center Fundazioa（スペイン）
- Hayes Lemmerz SRL（イタリア）
- IVL Svenska Miljoeinstitutet AB（スウェーデン）
- Pininfarina SPA（イタリア）
- Comite de Liason de la Construction d'Equipe-ments et de Pieces d'Automobiles Clepa Aisbl（ベルギー）
- Industrias Puigjaner S.A.（スペイン）
- Österreichisches Forschung und Prüfzentrum Arsenal GmbH（オーストリア）
- Evo Electric Ltd（英国）
- Fundacion CIE I+D+I（スペイン）



画像出所：プロジェクトHP



EUROLIS

Advanced European lithium sulphur cells for automotive applications

電気駆動車用の先進的な欧州製リチウム硫黄電池の開発

リチウムイオン電池はユーザーのニーズに完全に応える水準に達していないが、現実的な選択肢の一つだ。EVに搭載するには、これまでよりエネルギー密度の高い電池が必要となる。硫黄をカソードとして活用するリチウム電池技術は、高エネルギー・長寿命かつ低価格な電池の実現に向けた最適解の一つといえるだろう。

コーディネーター	Katja Molina
研究機関（国名）	KEMIJSKI INSTITUTE（スロベニア）
ホームページ	http://www.eurolis.eu/
実施期間	2012年10月1日～2016年9月30日
助成枠組み	FP7
研究対象	エネルギー貯蔵
助成母体	EU

プロジェクトパートナー：

- KEMIJSKI INSTITUTE（スロベニア）
- チャルマース工科大学（スウェーデン）
- ルノーSAS（Gie Regienovを通じて参加／フランス）
- Saft SAS（フランス）
- フラウンホーファー研究機構（ドイツ）
- マックス・プランク研究所（ドイツ）
- ボルボテクノロジーAB（スウェーデン）
- Solvionic SA（フランス）
- フランス国立科学研究センター（フランス）
- Center Odlicnosti Nizkoogljicne Tehnologije Zavod（スロベニア）
- incrotrone Trieste SCPA（イタリア）



画像出所：プロジェクトHP

EVolution

The Electric Vehicle revolution enabled by advanced materials highly hybridized into lightweight components for easy integration and dismantling providing a reduced life cycle cost logic

先端材料を高度に組み合わせた軽量コンポーネントによるEV革命。容易に着脱できるコンポーネントはライフサイクルコストの削減にも貢献する。

当該プロジェクトの目標は、2015年末までに重量600kgのフルEVの持続可能な生産を実証することである。

コーディネーター	Jesper deClaville Christiansen Lone Varn Johannsen
研究機関（国名）	オールボー大学（デンマーク）
ホームページ	http://cordis.europa.eu/project/rcn/105656_en.html
実施期間	2012年11月1日～2016年10月31日
助成枠組み	FP7
研究対象	車両
助成母体	EU



画像出所： <https://www.slideshare.net>

プロジェクトパートナー：

- オールボー大学（デンマーク）
- PININFARINA（イタリア）
- Fundación Tecnalia Research & Innovation（スペイン）
- Institutul National de Cercetare Dezvoltare Pentru Chimie Si Petrochimie - Icechim Bucuresti（ルーマニア）
- Association Pour La Recherche Et Le Developpement Des Methodes Et Processus Industriels（フランス）
- デンマーク技術研究所（デンマーク）
- Latvijas Valsts Koksnes Kimijas Instituts（ラトビア）
- バリャドリッド大学（スペイン）
- ベルリン工科大学（ドイツ）
- ピサ大学（イタリア）
- パトラス大学（ギリシャ）
- フィアット中央研究所（イタリア）
- ユーロマスター（イタリア）
- シェフィールド大学（英国）
- Centre De Recherche En Aeronautique Asbl - Cenaero（ベルギー）
- RITOLS（ラトビア）
- ABN Pipe Systems SL（スペイン）
- Fundacion CIDAUT（スペイン）
- Pohltec Metalfoam（ドイツ）
- Dow Europe（スイス）
- Innovazione Automotive E Metalmeccanica SCRL（イタリア）
- KGR（イタリア）
- FPK Lightweight Technologies S. Coop（スペイン）
- Dantec Dynamics（ドイツ）
- Pole Vehicule Du Futur（フランス）

FABRIC

FeAsiBility analysis and development of on-Road charging solutions for future electric vehiCles

未来の電気自動車向け路上充電ソリューションの実行可能性分析と開発

当該プロジェクトでは、EV用の動的なオンロード充電について、技術的な実現可能性や採算性、社会環境に及ぼす影響などについて研究する。主に動的ワイヤレス充電に焦点を当て、EVをより広範に交通システムに統合することのポテンシャルと実現可能性を評価する。動的ワイヤレス充電により、車載バッテリーパックの持つ全ての欠点を克服することができる。

コーディネーター	Dr. Angelos Amditis
研究機関（国名）	INSTITUTE OF COMMUNICATION AND COMPUTER SYSTEMS（ギリシャ）
ホームページ	http://www.fabric-project.eu/
実施期間	2014年1月1日～2017年12月31日
助成枠組み	FP7
研究対象	充電器
助成母体	EU



画像出所：プロジェクトHP

プロジェクトパートナー：

- フィアット中央研究所 Scpa（イタリア）
- 応用メカトロニクス エンジニアリング&テクノロジー SRL（イタリア）
- ボンバルディア・トランスポートーション（ドイツ）
- 原子力・代替エネルギー庁（フランス）
- エネルギー資源・消費研究センター（スペイン）
- Energrid Spa（イタリア）
- Enide Solutions S.L.（スペイン）
- ERLT Implementation Coordination Organisation Scrl（ベルギー）
- Forschungsgesellschaft Kraftwesen mbH Aachen（ドイツ）
- Institute of Communication and Computer Systems（EL）
- Iren Energia Spa（イタリア）
- Kungliga Tekniska Hogskolan（スウェーデン）
- Mect SRL（イタリア）
- トリノ工科大学（イタリア）
- Qualcomm CDMA Technologies GmbH（英国）
- Technositaf Spa（イタリア）
- TNO（オランダ）
- TRL Limited（英国）
- ボルボテクノロジーAB（スウェーデン）
- ジェノバ大学（イタリア）
- スカニアCV AB（スウェーデン）
- Foundation Partenariale Mov'eoTEC（フランス）
- Associazione Tecnica dell'Automobile Consulting & Solutions SRL（イタリア）
- SANEF（フランス）
- Qi Energy Assessment SL（イタリア）
- SAET Spa（イタリア）



FastInCharge

Innovative fast inductive charging solution for electric vehicles

EV向け革新的で迅速なインダクティブ充電ソリューション

当該プロジェクトでは、EVに40kWを給電できる非接触充電システムの開発を目指す。ステーションにおける充電と走行中給電の2つのシチュエーションに対応する。

コーディネーター	David Mignan
研究機関（国名）	DOUAISIENNE DE BASSE TENSION SAS （フランス）
ホームページ	http://www.fastincharge.eu/
実施期間	2012年10月1日～2015年9月30日
助成枠組み	FP7
研究対象	インフラストラクチャー
助成母体	EU

プロジェクトパートナー：

- Douaisienne de Basse Tension（フランス）
- ガブロヴォ工科大学（ブルガリア）
- 自動車産業クラスター—西スロバキア（スロバキア）
- Batz（スペイン）
- ドゥエー自治体（フランス）
- ユーロクオリティ（フランス）
- Institute of Communication and Computer Systems（ギリシャ）
- Tecnalía（スペイン）
- フィアット中央研究所（イタリア）

Type:	Actual Wire System	Actual Inductive System with 100 mm gap	FastInCharge System with 100 mm gap
Efficiency	90-94%	>80%	87-92%
Power rate	50kW	3kW	40kW
Charging time for 90% of battery:	20-30 min	6-8 hours	~ 30min(if stationary)
Weight Added of Vehicles	/	<4.5 kg	~ 20kg

画像出所：プロジェクトHP



FREE-MOBY

People Centric easy to implement e-mobility

人間中心で実現可能なEモビリティ

当該プロジェクトでは、簡単に操作できるマイクロ・フルEV（重量450～650kg、最高時速90km+/h）およびシティーEV（重量650～1,000kg）を導入する。

コーディネーター	Marco Ottella
研究機関（国名）	Bitron（イタリア）
ホームページ	該当なし
実施期間	2013年9月1日～2016年8月31日
助成枠組み	FP7
研究対象	充電器
助成母体	EU

プロジェクトパートナー：

- Bitron（イタリア）
- リチウムバランス（デンマーク）
- ICPE（ルーマニア）
- CIDAUT（スペイン）
- BAEPS（ブルガリア）
- IMBIGS（ポーランド）
- サリー大学（英国）
- STMicroelectronics（イタリア）
- Ricerca sul Sistema Energetico（イタリア）
- CISCセミコンダクターGmbH（オーストリア）
- Enel Distribuzione Spa（イタリア）
- Torino e-district（イタリア）
- Polimodel（イタリア）
- IFEVS（イタリア）



画像出所：<http://www.icpe.ro/free-moby/en/p/news>



GASTONE

New powertrain concept based on the integration of energy recovery, storage and reuse system with engine system and control strategies

エネルギーの回収・貯蔵・再利用システムとエンジンシステム、制御戦略の統合に基づく新しいパワートレインコンセプト

当該プロジェクトの成果は、（エンジンテスト装置による）ベンチレベルで示される。一方、エンジンのダウンサイジング、制御ストラテジーとリファレンス・ミッションのコンビネーション、ハイブリッドまたはその類似技術のパワートレインへの統合については、高度な動的モデル（advanced dynamic models）によって審査する。産業化の実現可能性、ディーゼルエンジンとの可換性、コストの試算が予備研究に含まれる。回生エネルギーを活用した新たなパワートレインの開発が最重点課題となる。現実的なコストのもとに、車両レベルでの50%以上の効率化を達成することを目標としている。

コーディネーター	Daniela Magnetto
研究機関（国名）	フィアット中央研究所（イタリア）
ホームページ	http://cordis.europa.eu/project/rcn/110743_en.html
実施期間	2013年11月1日～2017年5月31日
助成枠組み	FP7
研究対象	エネルギー貯蔵、制御
助成母体	EU

プロジェクトパートナー：

- フィアット中央研究所（イタリア）
- Engineering Center Steyr GMBH & CO. KG（オーストリア）
- Gentherm Europe GMBH（ドイツ）
- FPT Industrial（イタリア）
- コンチネンタル・オートモーティブGMBH（ドイツ）
- バレンシア工科大学（スペイン）

GO4SEM

Global Opportunities for SMEs in Electro- Mobility

世界のEモビリティ市場における中小企業のビジネス機会

当該プロジェクトは、包括的なアプローチを通じて、◇標準化や教育などに関する政策助言を行うこと◇グローバルな市場動向や参入チャンスに関する認識を促すこと◇専門家ネットワークの構築の機会となること、を目指している。そのためには、米国・日本・中国・インドのEVサプライチェーンに対する分析を欧州の中小企業、地域クラスターの持つ能力と照らし合わせる必要がある。

コーディネーター	Thierry Coosemans
研究機関（国名）	ブリュッセル自由大学（ベルギー）
ホームページ	http://cordis.europa.eu/project/rcn/109869_en.html
実施期間	2013年9月1日～2015年8月31日
助成枠組み	FP7
研究対象	その他
助成母体	EU

プロジェクトパートナー：

- ブリュッセル自由大学（ベルギー）
- 欧州自動車部品工業会（ベルギー）
- VDI/VDE Innovation + Technik（ドイツ）
- Torino E-district（イタリア）
- MIRA（英国）
- Delphi Automotive Systems Luxembourg（ルクセンブルク）
- AUTOMON（スペイン）
- Institutul de Cercetari Electrotehnice（ルーマニア）
- NXPセミコンダクターズ（オランダ）
- Hella KGaA Hueck & Co.（ドイツ）



Invitation to the workshop on
"Global Opportunities for SMEs in Electro -
Mobility"
9th June 2015

画像出所： huk/go4sem-image/http://www.apcuk.co.

HEMIS

Electrical powertrain HEalth Monitoring for Increased Safety of FEVs

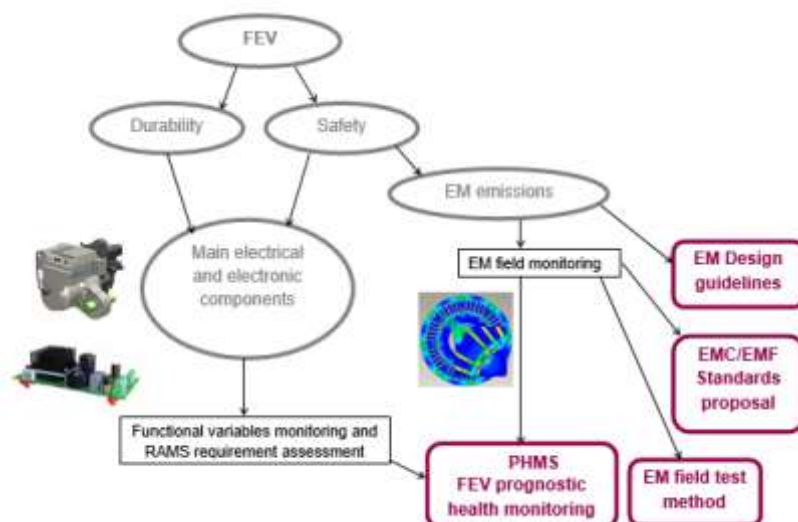
完全電気自動車の安全性向上のための電気パワートレイン健全性監視

当該プロジェクトは、以下の2点を目標としている。その1つは、パワートレインの健全性と放射電磁場に関する物理特性を感知する「予知的健康モニタリングシステム」（PHMS）を設計すること。もう1つは、電磁両立性（EMC）や（長波を含む）電磁場が人体に与える影響について、フルEVの生産における設計ガイドラインを提供することである。

コーディネーター	Ainhua Galarza
研究機関（国名）	CENTRO DE ESTUDIOS E INVESTIGACIONES TECNICAS（CEIT） （スペイン）
ホームページ	http://www.hemis-eu.org/
実施期間	2012年6月1日～2014年11月30日
助成枠組み	FP7
研究対象	制御、電気モーター
助成母体	EU

プロジェクトパートナー：

- CEIT（スペイン）
- York EMC Services（英国）
- IDIADAオートモーティブテクノロジー（スペイン）
- VTT（フィンランド）
- ミラノ工科大学（イタリア）
- MIRA（英国）
- JEMA Energy（スペイン）



画像出所：プロジェクトHP

ICAB

Integrated Circuit for Advanced Battery Management

高度な電池パックのための集積回路

当該プロジェクトの背景にある技術革新は、最先端技術をさらに大きく上回るBMS技術の開発に依拠している。なお、当該プロジェクトでは、特定用途向け集積回路（ASIC）技術を活用して、部品点数とコスト全体を削減することを目指す。

コーディネーター Lars Barkler

研究機関（国名） LITHIUM BALANCE A/S
（デンマーク）

ホームページ http://cordis.europa.eu/project/rcn/109875_en.html

実施期間 2013年9月1日～2015年12月31日

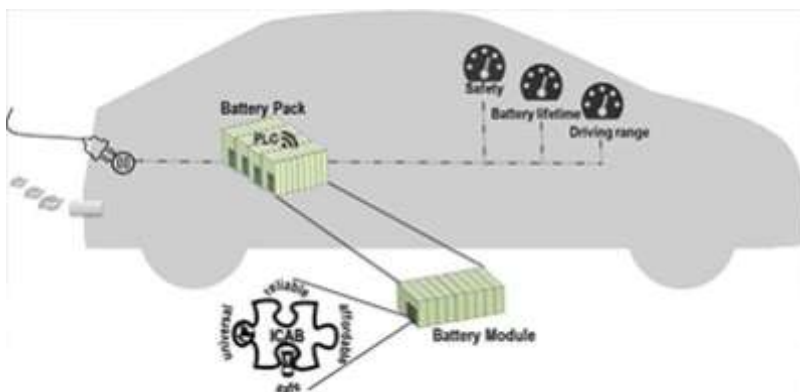
助成枠組み FP7

研究対象 エネルギー貯蔵

助成母体 EU

プロジェクトパートナー：

- LITHIUM BALANCE A/S（デンマーク）
- CLEANCARB SARL（ルクセンブルク）
- EVOLEO TECHNOLOGIES LDA（ポルトガル）
- DELTA DANSK ELEKTRONIK, LYS & AKUSTIK OV-RIGE VIRKSOMHEDSFORMER（デンマーク）
- ASOCIACION INSTITUTO TECNOLOGICO DE LA ENERGIA（スペイン）
- オールボー大学（デンマーク）



画像出所：<http://www.ite.es/project/icab/>



画像出所：<http://www.ite.es/project/icab/>

iCOMPOSE

Integrated Control of Multiple- Motor and Multiple- Storage Fully Electric Vehicles

完全電気自動車の複数モーター及び複数蓄電の統合制御

システム統合は、フルEVのエネルギー効率を向上させるための重要な手段の一つである。当該プロジェクトでは、その実現のため、総合的なエネルギー管理を核とする制御ソフトウェアアーキテクチャの段階的な変革を提案する。

コーディネーター	Danie Watzenig
研究機関（国名）	Kompetenzzentrum - Das Virtuelle Fahrzeug, Forschungsgesellschaft mbH（オーストリア）
ホームページ	http://www.i-compose.eu/iCompose/
実施期間	2013年10月1日～2016年9月30日
助成枠組み	FP7
研究対象	制御
助成母体	EU

プロジェクトパートナー：

- Kompetenzzentrum - Das virtuelle Fahrzeug, Forschungsgesellschaft（オーストリア）
- サリー大学（英国）
- ロータス・カーズ（英国）
- シュコダ自動車（チェコ）
- Flanders DRIVE（ベルギー）
- Hutchinson（フランス）
- AVL List（オーストリア）
- インフィニオン・ドイツ（ドイツ）
- フラウンホーファー交通・インフラシステム研究所（IVI）（ドイツ）



画像出所：プロジェクトHP



IMPROVE

Integration and Management of Performance and Road Efficiency of Electric Vehicle Electronics

電気自動車用エレクトロニクスの性能及び道路効率の統合と管理

当該プロジェクトは、（フリート運用される）商用車向けの車載情報通信技術（ICT）の革新を目指す。商用車向け車載ICTは、乗用車向けとはユースケースが違っただけでなく、快適性、ドライビングダイナミクス、コスト効率といった項目間のトレードオフが異なっている。

コーディネーター	Alois Danninger
研究機関（国名）	Virtual Vehicle Competence Center （オーストリア）
ホームページ	http://improve-fp7.eu/
実施期間	2013年7月1日～2016年6月30日
助成枠組み	FP7
研究対象	電気モーター、制御
助成母体	EU

プロジェクトパートナー：

- Virtual Vehicle Competence Center（オーストリア）
- Brusa Elektronik AG（スイス）
- Continental Temic Automotive Electric Motors（ドイツ）
- チェコ工科大学（チェコ）
- フラウンホーファー研究機構（ドイツ）
- IDIADAオートモーティブテクノロジー（スペイン）
- LMS（フランス）
- SIC! Software（ドイツ）
- TOFAS（トルコ）
- フィレンツェ大学（イタリア）



画像出所：プロジェクトHP

INCوبات

Innovative Cost Efficient Management System for Next Generation High Voltage Batteries

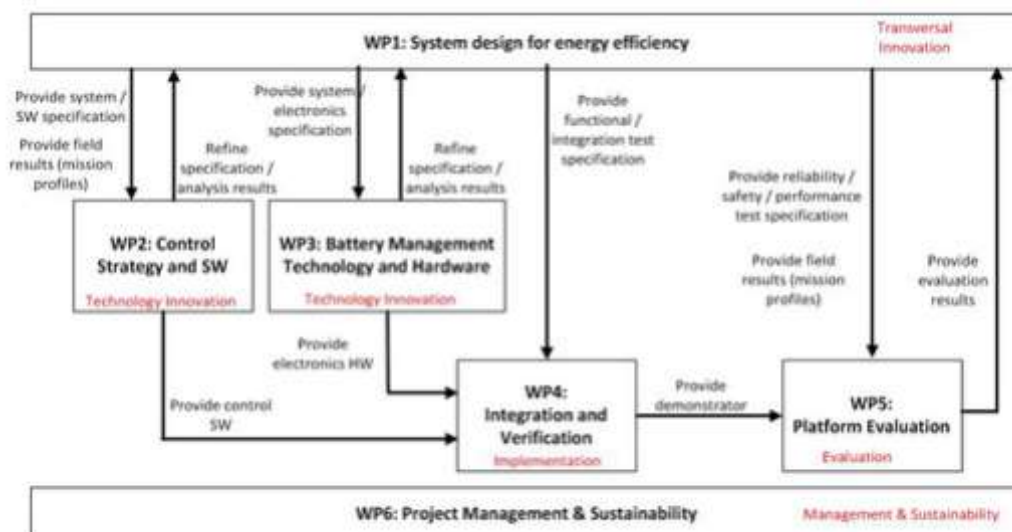
次世代HVバッテリーのための革新的でコスト効率に優れた管理システム

次世代HV（高圧）バッテリーに必要な革新的でコスト効率に優れたバッテリー管理システムを提供することを目指す。その実現に向け、コストの圧縮、複雑性の軽減、信頼性の向上ならびにフレキシビリティとより高いエネルギー効率を実現するためのプラットフォーム・コンセプトを提案する。

コーディネーター	Ingrid Kundner
研究機関（国名）	AVL LIST（オーストリア）
ホームページ	http://www.incobat-project.eu/contact/
実施期間	2013年10月1日～2016年9月30日
助成枠組み	FP7
研究対象	エネルギー貯蔵、制御
助成母体	EU

プロジェクトパートナー：

- AVL List（オーストリア）
- アイデアズ&モーション（イタリア）
- フ라운ホーファー研究機構（ドイツ）
- インフィニオン・テクノロジーズオーストリア（オーストリア）
- インフィニオン・テクノロジーズ（ドイツ）
- Impact Clean Power Technology（ポーランド）
- Kemet Electronics Italia（イタリア）
- Chemnitzer Werkstoffmechanik（ドイツ）



画像出所：プロジェクトHP



LISSEN

Lithium Sulfur Superbattery Exploiting Nanotechnology

ナノテクノロジーを活用したリチウム硫黄スーパーバッテリー

当該プロジェクトでは、高容量のリチウム・硫黄電池の実用化に向け、ナノ構造化電極と電解液材料の特定と開発に取り組む。

コーディネーター	Bruno Scrosati
研究機関（国名）	CONSORZIO SAPIENZA INNOVAZIONE （イタリア）
ホームページ	http://cordis.europa.eu/project/rcn/104446_en.html
実施期間	2012年9月1日～2015年8月31日
助成枠組み	FP7
研究対象	エネルギー貯蔵
助成母体	EU

プロジェクトパートナー：

- Consorzio Sapienza Innovazione（イタリア）
- Chalmers Tekniska Högskola AB（スウェーデン）
- Rockwood Lithium（ドイツ）
- ローマ・ラ・サピエンツァ大学（イタリア）
- フォルクスワーゲン AG（ドイツ）
- Celaya, Emparanza y Galdos International（スペイン）
- Zentrum für Sonnenenergie- und Wasserstoff-Forschung, Baden-Württemberg（ドイツ）
- Università degli Studi G. D'Annunzio Chieti Pescara（イタリア）
- ヴェストファーレン・ヴィルヘルム（ミュンスター）大学（ドイツ）
- 漢陽大学校（韓国）
- Deutsches Zentrum fuer luft-und raumfahrt EV（ドイツ）



画像出所： <http://www.egvi.eu/>

MAG-DRIVE

New permanent magnets for electric-vehicle drive applications

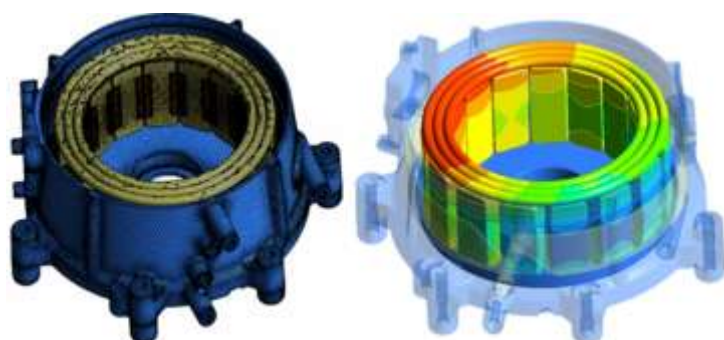
電気自動車駆動装置向けの新型永久磁石

当該プロジェクトでは、軽希土類元素をベースにした磁石の特性（特に保磁力）を劇的に改善する新たな微細構造工学の研究開発を行う。これらの磁石はリサイクルを考慮した設計となっており、従来のレアアース磁石への依存を減らすことに重点を置いている。当該プロジェクトではこれらの磁石をVALEOによって開発された次世代EV用の高効率モーターに統合する。

コーディネーター	Paul McGuinness
研究機関（国名）	Jozef Stefan Institut（スロベニア）
ホームページ	http://mag-drive-fp7.eu/index.php
実施期間	2013年10月1日～2017年9月30日
助成枠組み	FP7
研究対象	電気モーター
助成母体	EU

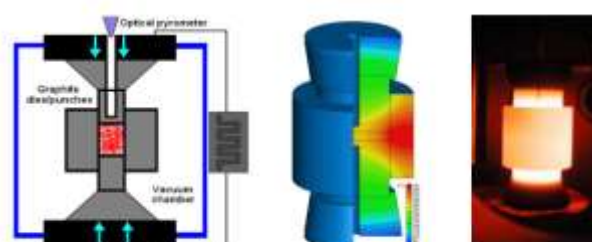
プロジェクトパートナー：

- Jozef Stefan Institut（スロベニア）
- Valeo Equipments Electriques Moteur SAS（フランス）
- Dr.Kochanek Entwicklungsgesellschaft（ドイツ）
- バーミンガム大学（英国）
- Magneti Ljubljana Podjetje za proizvodnjo magnetnih materialov, D.D（スロベニア）
- Institute of Chemistry, Technology and Metallurgy（セルビア）
- ロンドン大学クイーン・メアリー（英国）



画像出所：プロジェクトHP

Spark Plasma Sintering (SPS)



MARS-EV

Materials for Ageing Resistant Li-ion High Energy Storage for the Electric Vehicle

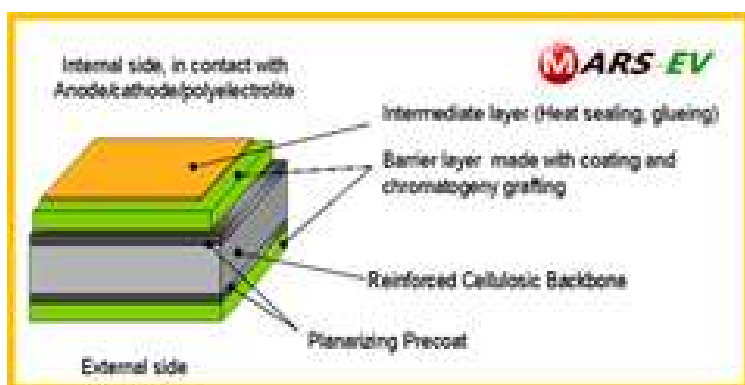
EV用耐老化性リチウム高エネルギー貯蔵のための材料

当該プロジェクトは、リチウムイオン電池の劣化現象の克服を目的としている。そのために、持続可能なスケールアップ合成とリサイクル寿命を改善した安全な電解質（放電深度100%で3,000サイクル以上の期待寿命）を通じて、高容量な電極材料（1セル当たりの重量エネルギー密度が250Wh/kg以上）を開発する。

コーディネーター	Jon Lacunza
研究機関（国名）	Fundacion Cidetec（スペイン）
ホームページ	http://www.mars-ev.eu/homepage
実施期間	2013年10月1日～2017年9月30日
助成枠組み	FP7
研究対象	エネルギー貯蔵
助成母体	EU

プロジェクトパートナー：

- Fundacion Cidetec（スペイン）
- テルアビブ大学（イスラエル）
- オックスフォード・ブルックス大学（英国）
- インペリアル・カレッジ・ロンドン（英国）
- トリノ工科大学（イタリア）
- Westfälische-Gesellschaft zur Förderung der angewandten Forschung e.V.（ドイツ）
- SGL Carbon GmbH（ドイツ）
- Lithops S.r.l（イタリア）
- Centre Technique de l'Industrie des Papiers, Cartonset Celluloses（フランス）
- Solvionic SA（フランス）
- Celaya, Emparanza y Galdos Internacional S.A.（スペイン）
- Rockwood Italia SPA（イタリア）
- Recupyl SAS（フランス）
- Johnson Matthey Plc（英国）
- Axion Technologies Limited（英国）
- Agenzia Nazionale per le Nuove Tecnologie, l'Energia e lo Sviluppo Economico Sostenibile（イタリア）



画像出所：プロジェクトHP





MAT4BAT

Advanced Materials for Batteries

バッテリー用最先端材料

当該プロジェクトはEV用バッテリーについて、先端材料とパイロットラインのプロセスに関する戦略を構築することを目的としている。NMCとカーボネート系液体電解質、グラファイトというセルの最先端材料の組み合わせから、3つの新たなコンセプトを提案する。この技術と製品寿命と安全性に直接的に影響する主要な劣化メカニズムの全てに取り組んでいく。そのために「バッテリーアセスメント」と「バッテリー技術」の2つのワークプログラムを実装している。

コーディネーター	Yves Hussenot
研究機関（国名）	原子力・代替エネルギー庁 （フランス）
ホームページ	http://mat4bat.eu/
実施期間	2013年9月1日～2017年2月28日
助成枠組み	FP7
研究対象	エネルギー貯蔵
助成母体	EU



画像出所：プロジェクトHP

プロジェクトパートナー：

- 原子力・代替エネルギー庁（フランス）
- Vlaamse Instelling voor Technologisch Onderzoek N.V（ベルギー）
- Directa Plus SPA（イタリア）
- カールスルーエ工科大学（ドイツ）
- Celaya, Emparanza y Galdos Internacional S.A（スペイン）
- ルノーSAS（フランス）
- Kurt Simon Luxembourg S.A（ルクセンブルク）
- Zentrum für Sonnenenergie- und Wasserstoff-Forschung, Baden-Württemberg（ドイツ）
- Timcal SA（スイス）
- Solvionic SA（フランス）
- ニューカッスル大学（英国）
- Fundacion Cidetec（スペイン）
- Solvay Specialty Polymers Italy SPA（イタリア）
- Centro de Investigacion Cooperativade Energias Alternativas Fundacion（スペイン）
- Association de gestion de l'ecole d'ingénieurs en génie des systèmes industriels（フランス）
- 高分子化学研究所 AV CR, V.V.I.（チェコ）
- 国立応用科学院リヨン校（フランス）

MATISSE

Modelling And Testing for Improved Safety of key composite StructurEs in alternatively powered vehicles

代替エネルギー車における複合材料構造体の安全性に関するモデリングと検査

当該プロジェクトでは、量産化された繊維強化ポリマー（FRP）の複合材料について、衝突時の挙動をモデリング、予測、最適化する技術を大幅に前進させる。FRPは代替エネルギー車に幅広く利用されることが見込まれている。

コーディネーター	Roland Wohlecker
研究機関（国名）	fka Forschungsgesellschaft Kraftfahrwesen mbH Aachen（ドイツ）
ホームページ	http://www.project-matisse.eu/
実施期間	2012年10月1日～2015年9月30日
助成枠組み	FP7
研究対象	車両
助成母体	EU

プロジェクトパートナー：

- Forschungsgesellschaft Kraftfahrwesen mbH Aachen（ドイツ）
- ミュンヘン工科大学（ドイツ）
- チャルマース工科大学 AM（スウェーデン）
- オートリブ開発AB（スウェーデン）
- Xperion Energy & Environment GmbH（ドイツ）
- Airborne Technology Center B.V.（オランダ）
- グラーツ工科大学（オーストリア）
- フィアット中央研究所Spca（イタリア）
- Dynamore Nordic AB（スウェーデン）
- Sistemas y Procesos Avanzados SL（スペイン）
- ダイムラー AG（ドイツ）



画像出所：プロジェクトHP



MEMLAB

Melt Spun and Sintered Metal Fibre Networks for Lead-Acid Battery Advancement

鉛酸電池の発達のためのメルトスパン法と焼結型金属繊維網

当該プロジェクトでは、最先端の繊維生産技術を使って、チタン・アルミニウム繊維ネットワークを作成する。これらの繊維を鉛や酸化鉛でコーティングする。この技術により、鉛電池の重量は半減し、重量当たりの出力を大幅に引き上げることができる。これにより、ハイブリッド車への搭載が可能になる。

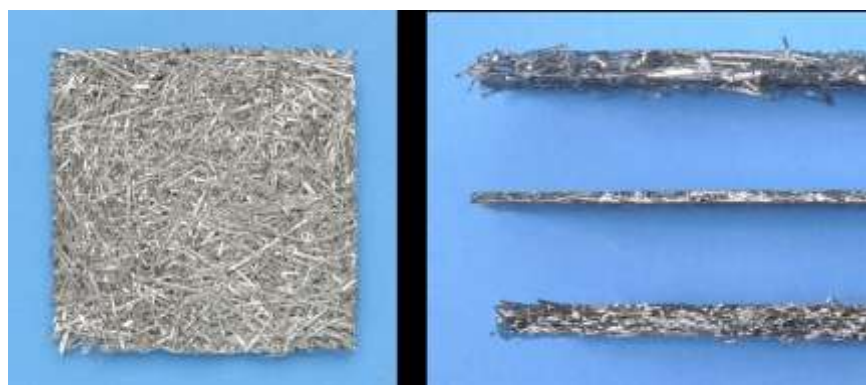
コーディネーター	Lee William Marston
研究機関（国名）	FIBRE TECHNOLOGY LIMITED（英国）
ホームページ	http://www.memlab.eu/
実施期間	2012年11月1日～2015年1月31日
助成枠組み	FP7
研究対象	エネルギー貯蔵
助成母体	EU

プロジェクトパートナー：

- Fibre Technology Limited（英国）
- TWI Ltd（英国）
- ARVIS S.A. Environmental enterprises of Greece（ギリシャ）
- Institute of Electrochemistry and Energy Systems（ブルガリア）
- SystematIC Design b.v.（オランダ）
- MIRA Ltd（英国）
- İnci Akü Sanayi ve Ticaret Anonim Şirketi（トルコ）



画像出所：プロジェクトHP



MOBINCITY

Smart Mobility in Smart City

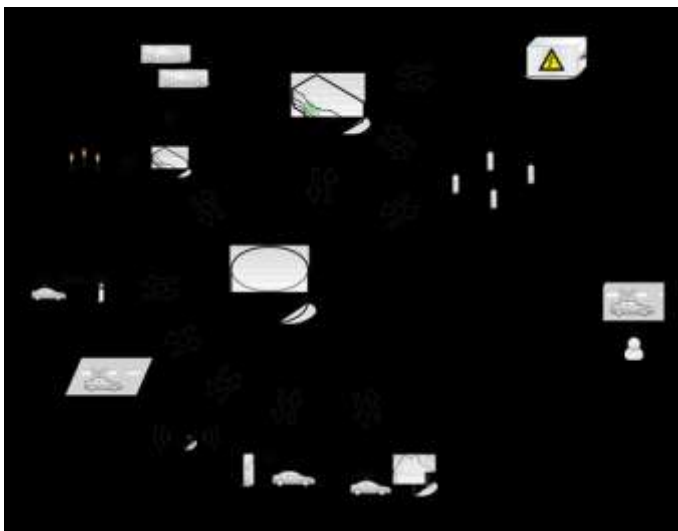
スマートシティにおけるスマートモビリティ

当該プロジェクトでは、フルEVのオートノミーレンジの最適化とエネルギー効率の向上を目指す。ICTベースの統合システムを開発することで、ドライバー、車両、運輸、エネルギーインフラの間でインタラクティブな情報処理が可能となる。同システムから得られたデータを活用することで、エネルギーの充放電プロセス（旅行計画と経路選択）を最適化することもできるようになる。

コーディネーター	Sixto Santonja-Hernández
研究機関（国名）	Asociacion Instituto Tecnologico de la Energia（スペイン）
ホームページ	http://www.mobincity.eu/
実施期間	2012年7月1日～2015年6月30日
助成枠組み	FP7
研究対象	その他
助成母体	EU

プロジェクトパートナー：

- ITE - Asociacion Instituto Tecnologico de la Energia（スペイン）
- フラウンホーファー研究機構（ドイツ）
- Etra Electronic Trafic SA（スペイン）
- Energy Institute "Hrvoje Pozar"（クロアチア）
- Enel Distribuzione S.P.A.（イタリア）
- CITディベロップメント S.L.（スペイン）
- Elektro Ljubljana Podjete Za Distribucijo Elektricne Energije D.D.（スロベニア）
- Hrvatski Telekom（クロアチア）
- Technomar GmbH（ドイツ）
- Oprema Ravne（スロベニア）
- Etrek Svetovanje in Druge Storitve Doo（スロベニア）
- Consorzio per la Ricerca nell' Automatica e nelle Telecomunicazioni（イタリア）
- Zabala Innovation Consulting, S.A.（スペイン）



画像出所：プロジェクトHP

NECOBAUT

New Concept of Metal-Air Battery for Automotive Application based on Advanced Nanomaterials

高度なナノ物質を利用した自動車用金属空気電池の新概念

当該プロジェクトでは、現行のリチウムイオン電池に替わる次世代の空気電池の新コンセプトを策定することを目指す。特に電極製造のための合成と特定のナノ材料の使用に焦点を当てる。また、モデリングおよびシミュレーションツールの助けを借りて、高度なセル設計の研究を進め、電池の効率と耐久性の向上を目指す。

コーディネーター	Alberto Garcia
研究機関（国名）	FUNDACION TECNALIA RESEARCH & INNOVATION（スペイン）
ホームページ	https://cordis.europa.eu/project/rcn/104532_en.html
実施期間	2012年10月1日～2015年9月30日
助成枠組み	FP7
研究対象	エネルギー貯蔵
助成母体	EU

プロジェクトパートナー：

- TECNALIA（スペイン）
- サウサンプトン大学（英国）
- ITAE / CNR（イタリア）
- ウォーリック大学（英国）
- INERIS（フランス）
- Técnicas Reunidas（スペイン）
- TIMCAL（スイス）
- SAFT Baterías（スペイン）



画像出所：プロジェクトHP

ODIN

Optimized electric Drivetrain by INtegration

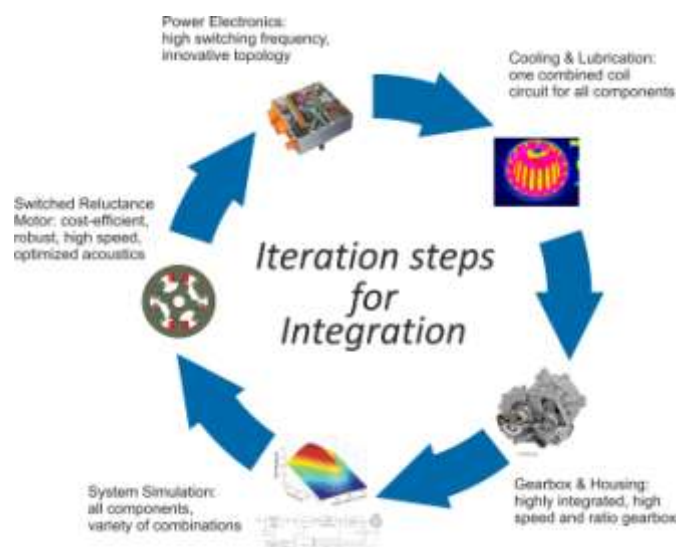
統合による電動パワートレインの最適化

当該プロジェクトでは、コンパクトかつ効率的で高度に統合された電動パワートレインの開発を目指す。生産においても、主要コストの削減を目標に最適化を図る。

コーディネーター	Martin Braun
研究機関（国名）	ロバート・ボッシュGMBH （ドイツ）
ホームページ	https://egvi.eu/projects/26/38/ODIN-Optimized-electric-Drivetrain-by-INtegration-March-April2015
実施期間	2012年7月1日～2015年6月30日
助成枠組み	FP7
研究対象	制御
助成母体	EU

プロジェクトパートナー：

- ロバート・ボッシュ（ドイツ）
- GKN Driveline（フランス）
- Fuchs Petrolub AG（ドイツ）
- Fundacion CIE I+D+i（スペイン）
- Romax Technology（英国）
- RWTH Aachen（ドイツ）
- ルノー（フランス）



画像出所：プロジェクトHP

OPTIMORE

Optimised Modular Range Extender for every day customer usage

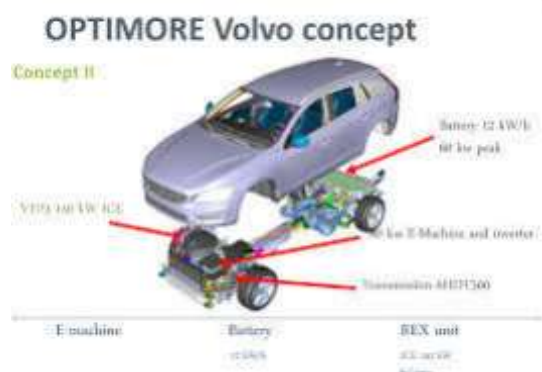
消費者の日常使用向けに最適化されたモジュール型レンジエクステンダー

当該プロジェクトは、航続距離を延長した完全一体型の小型EVのコンセプトの開発、最適化に挑戦する。3つの異なるレンジエクステンダー（RE）のコンセプトを開発し、それぞれに適した街乗りタイプから中型乗用車、小型商用車を使って実証試験する。

コーディネーター	Theodor Sams
研究機関（国名）	AVL LIST GMBH（ドイツ）
ホームページ	http://www.optimore-project.eu/
実施期間	2012年10月1日～2014年9月30日
助成枠組み	FP7
研究対象	車両
助成母体	EU

プロジェクトパートナー：

- AVL List（ドイツ）
- チャルマース工科大学AB（スウェーデン）
- フィアット中央研究所（イタリア）
- IVECO SPA（イタリア）
- AVL-Schrick（ドイツ）
- Uniresearch BV（オランダ）
- ボルボカーズAB（スウェーデン）
- Getrag International（ドイツ）



画像出所：プロジェクトHP

PLUS-MOBY

Premium Low weight Urban Sustainable e-MOBility

持続可能な超軽量都市型Eモビリティ

当該プロジェクトでは、重量450～650kgで最高時速90kmの四輪マイクロEVを製造するために必要となる低コスト・低エネルギー強度技術に焦点が当てられる。このマイクロEVは、欧州の型式認証で「カテゴリー M1」（乗用車：運転席を除く座席数が8席以下の人員輸送用の車両）に相当する構成にアップグレードできる。

コーディネーター	Marco Ottella
研究機関（国名）	BITRON SPA（イタリア）
ホームページ	http://cordis.europa.eu/project/rcn/110642_en.html
実施期間	2013年9月1日～2016年8月31日
助成枠組み	FP7
研究対象	車両
助成母体	EU

プロジェクトパートナー：

- BITRON（イタリア）
- Magnetto Automotive CLN Group（イタリア）
- ICPE（ルーマニア）
- Cidaut（スペイン）
- ブルガリア電気自動車協会（ブルガリア）
- IMBiGiS（ポーランド）
- サリー大学（英国）
- トリノE地区（イタリア）
- Polimodel（イタリア）
- IFEVS（イタリア）



画像出所：<https://ec.europa.eu> © Interactive Fully Electric Vehicles

PowerUp

Specification, Implementation, Field Trial, and Standardisation of the Vehicle-2-Grid Interface

V2G インタフェースの仕様、実装、フィールドテストおよび標準化

当該プロジェクトでは、V2G (Vehicle-2-Grid) インタフェースを開発する。◇充電制御プロトコルの設計◇プロトタイプの実装◇適合性試験◇フィールド試験◇標準化、といった物理／リンク層の仕様の完全な開発サイクルがテーマとなる。同インターフェースの策定により、新たなスマートグリッドネットワークにフルEVをスムーズに統合することが可能となる。

コーディネーター	Andras Kovacs
研究機関 (国名)	BroadBit (スロバキア)
ホームページ	https://cordis.europa.eu/project/rcn/99254_en.html
実施期間	2011年7月1日～2013年6月30日
助成枠組み	FP7
研究対象	その他
助成母体	EU

プロジェクトパートナー：

- BroadBit (スロバキア)
- フィアット中央研究所 (イタリア)
- Corinex (スロバキア)
- デンソー (ドイツ)
- ETSI (フランス)
- ICCS (ギリシャ)
- Itron (フランス)
- Systema (ギリシャ)
- Technolution (オランダ)
- ボルボテクノロジー (スウェーデン)
- パブリック・パワー (ギリシャ)



画像出所：プロジェクトHP

SafeAdapt

Safe Adaptive Software for Fully Electric Vehicles

100%電気自動車向け安全適応型ソフトウェア

当該プロジェクトは、フルEVの新たなアーキテクチャーを開発することを目的としている。安全性、信頼性、コスト効率といった要請に応える新たなF/Eアーキテクチャーを開発する。

コーディネーター	Dirk Eilers
研究機関（国名）	フラウンホーファー組み込みシステム・通信技術研究所（ESK） （ドイツ）
ホームページ	http://www.safeadapt.eu/
実施期間	2013年7月1日～2016年6月30日
助成枠組み	FP7
研究対象	制御
助成母体	EU

プロジェクトパートナー：

- フラウンホーファー組み込みシステム・通信技術研究所（ESK）（ドイツ）
- TTTech Computertechnik（オーストリア）
- Fico Mirrors（スペイン）
- Fundación Tecnalia Research & Innovation（スペイン）
- 原子力・代替エネルギー庁（フランス）
- シーメンス・コーポレートテクノロジー（ドイツ）
- Pininfarina（イタリア）
- Duracar Holding（オランダ）
- AWEFLEX Systems（オランダ）
- Delphi Deutschland（ドイツ）



画像出所：プロジェクトHP



SafeEV

Safe Small Electric Vehicles through Advanced Simulation Methodologies

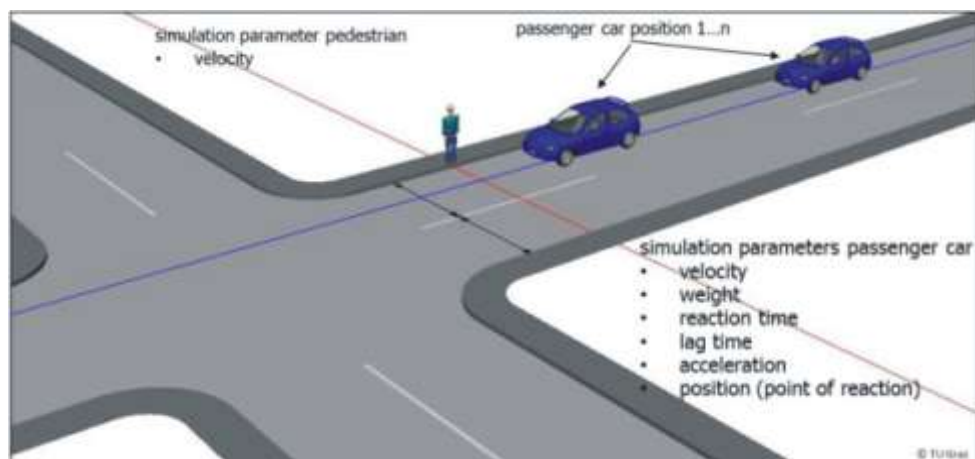
高度なシミュレーション方式による安全な小型EV

当該プロジェクトでは、将来起こりうる事故シナリオに基づいて、高度なテストシナリオ、交通弱者（VRU）の評価基準、乗員の安全性、小型EVの適合性などを定義する。

コーディネーター	Andreas Teibinger
研究機関（国名）	Kompetenzzentrum - Das Virtuelle Fahrzeug, Forschungsgesellschaft mbH（ドイツ）
ホームページ	http://www.project-safeev.eu/
実施期間	2012年10月1日～2015年9月30日
助成枠組み	FP7
研究対象	車両安全
助成母体	EU

プロジェクトパートナー：

- Kompetenzzentrum - Das Virtuelle Fahrzeug Forschungsgesellschaft（ドイツ）
- フォルクスワーゲン（ドイツ）
- ダイムラー（ドイツ）
- フィアット中央研究所（イタリア）
- Pininfarina（イタリア）
- チャルマース工科大学（スウェーデン）
- ストラスブール大学（フランス）
- アーヘン工科大学（ドイツ）
- グラーツ工科大学（オーストリア）
- ロバート・ボッシュ（ドイツ）



画像出所：プロジェクトHP

Smart EV-VC

Smart Electric Vehicle Value Chains

スマート電気自動車のバリューチェーン

当該プロジェクトでは、これまでEUおよび加盟国で行われた研究プログラムを振り返りつつ、ホライズン2020に向け、本格的に推進すべき課題を整理する。これには、特にICTとスマートシステムを主要技術とする「メイドインヨーロッパ」のフルEVに向けた戦略研究、開発、技術革新が含まれる。

コーディネーター	Gereon Meyer
研究機関（国名）	VDI/VDE INNOVATION + TECHNIK GMBH（ドイツ）
ホームページ	http://cordis.europa.eu/project/rcn/104151_en.html
実施期間	2012年10月1日～2014年9月30日
助成枠組み	FP7
研究対象	その他
助成母体	EU

プロジェクトパートナー：

- VDI/VDE Innovation + Technik（ドイツ）
- フィアット中央研究所（イタリア）
- ルノー（フランス）
- ロバート・ボッシュ（ドイツ）
- シーメンスAG（ドイツ）
- ST Microelectronics（フランス）
- AVL List（オーストリア）
- ブリュッセル自由大学（ベルギー）
- スペイン自動車部品製造者協会（スペイン）
- Interactive Electric Vehicles（イタリア）



SPEED

Silicon Carbide Power Technology for Energy Efficient Devices

省エネルギー装置のための炭火ケイ素発電技術

炭火ケイ素（SiC）基板、エピタキシャル層、高電圧（HV）機器を開発し、最終的には以下の2つのデモ機に実装する。◇高度なスマートグリッドと電力品質を維持するための費用対効果の高いソリッドステート変圧器◇AC/DC発電の機能を改善した風力発電用コンバーター。

コーディネーター	Fernando Ubieta
研究機関（国名）	INAEL ELECTRICAL SYSTEMS SA（スペイン）
ホームページ	http://www.speed-fp7.org/
実施期間	2014年1月1日～2017年12月31日
助成枠組み	FP7
研究対象	エネルギー貯蔵
助成母体	EU

プロジェクトパートナー：

- INAEL Electrical Systems, S.A.
（スペイン）
- ABB Schweiz AG（スイス）
- Agencia Estatal Consejo Superior de Investigaciones Científicas. Centro Nacional de Micro electrónica（スペイン）
- ENEL DISTRIBUZIONE S.P.A.（イタリア）
- ブレーメン大学（ドイツ）
- オビエド大学（スペイン）
- NORSTEL AB（スウェーデン）
- ASCATRON AB（スウェーデン）
- ノッティンガム大学（英国）
- インフィニオン・テクノロジーAG
（ドイツ）
- インフィニオン・テクノロジー・オーストリアAG（オーストリア）
- ミュンヘン工科大学（ドイツ）
- フ라운ホーファー研究機構
（ドイツ）
- チェコ工科大学（チェコ）
- ハノーファー大学（ドイツ）
- ANNEALSYS SAS（フランス）
- INGTEAM POWER TECHNOLOGY SA
（スペイン）



画像出所：プロジェクトHP

STABLE

Stable high-capacity lithium-Air Batteries with Long cycle life for Electric cars

EV用サイクル寿命が長く安定した高容量リチウム空気電池

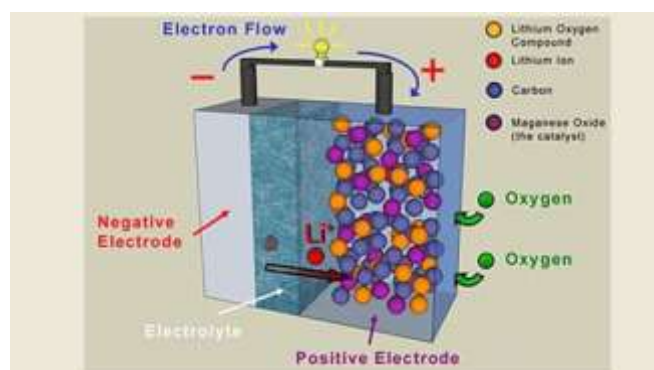
当該プロジェクトでは、バッテリーの正極と負極、電解質材料の技術革新に加え、バッテリー性能やコスト、環境負荷に決定的な影響を与えるバッテリーセルアセンブリが重要なテーマとなる。

リチウム空気電池の寿命とサイクル特性の向上についても研究する。これについては、放電時にも充電時にも活性を示す二元機能触媒の発見やリチウム負極で生成される樹状結晶を膜を用いて抑制する方法の開発、正極で生成されるLi₂O₂の溶解を促し安定した電解質を得るための添加剤の発明などが焦点となる。

コーディネーター	Qiuping Chen
研究機関（国名）	トリノ工科大学（イタリア）
ホームページ	https://cordis.europa.eu/project/rcn/104540_en.html
実施期間	2012年9月1日～2015年8月31日
助成枠組み	FP7
研究対象	エネルギー貯蔵
助成母体	EU

プロジェクトパートナー：

- トリノ工科大学（イタリア）
- Acondicionamiento Tarrasense Asociacion（スペイン）
- L'Urederra, Fundacion Para el Desarrollo Tecnologico y Social（スペイン）
- SWEAR IVF AB（スウェーデン）
- ユニバーシティ・カレッジ・コーク（アイルランド）
- サカリヤ大学（トルコ）
- Celaya, Emparanza y Galdos Internacional（スペイン）
- Elaphe, Podjetje za Razvoj in Prodajo Elektricnih Vozil Ter Energijskih Virov（スロベニア）



画像出所：プロジェクトHP

SYRNEMO

Synchronous Reluctance Next Generation Efficient Motors for Electric Vehicles

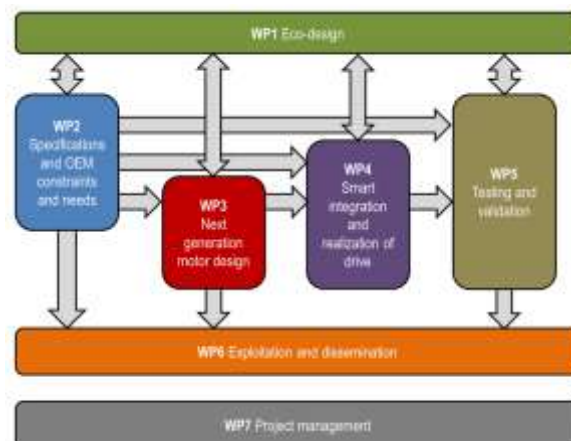
EV向け次世代の同期磁気抵抗機

SyrNemoは最新式の永久磁石同期電動機（PM）よりも低価格でありながら、より高い出力密度と走行サイクル効率を備えた革新的な同期式リラクタンスモータである。

コーディネーター	Oliver Winter
研究機関（国名）	オーストリア技術研究所（AIT） （オーストリア）
ホームページ	http://www.syrnemo.eu/
実施期間	2013年10月1日～2016年9月30日
助成枠組み	FP7
研究対象	電気モーター
助成母体	EU

プロジェクトパートナー：

- オーストリア技術研究所（AIT）
（オーストリア）
- AVL List GmbH（オーストリア）
- フィアット中央研究所 SpcA（イタリア）
- Fundación Tecnalia Research & Innovation
（スペイン）
- ボローニャ大学（イタリア）
- ハノーファー大学（ドイツ）
- Thien eDrives GmbH（オーストリア）
- ブリュッセル自由大学（ベルギー）



画像出所：プロジェクトHP

UNPLUGGED

Wireless charging for Electric Vehicles

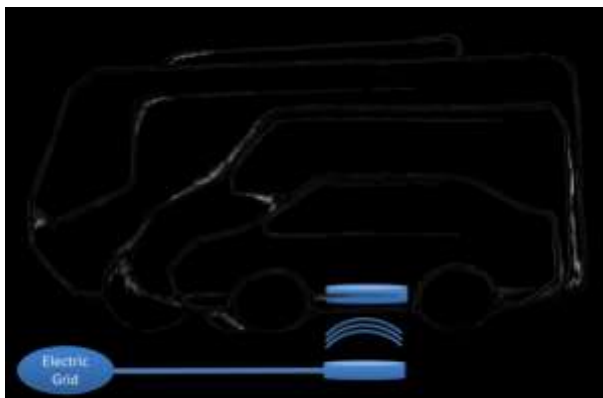
EVのワイヤレス充電

都市でワイヤレス充電を使用した場合に、EVを基盤とするモビリティが利便性と持続可能性の面でどのように改善されるかを調査する。

コーディネーター	Stefano Persi
研究機関（国名）	ENIDE（スペイン） FKA FORSCHUNGSGESELLSCHAFT KRAFTFAHRWESEN MBH AACHEN （ドイツ）
ホームページ	http://unplugged-project.eu/wordpress/
実施期間	2012年10月1日～2015年3月31日
助成枠組み	FP7
研究対象	インフラストラクチャー
助成母体	EU

プロジェクトパートナー：

- ENIDE（スペイン）
- Forschungsgesellschaft Kraftfahrwesen Aachen（ドイツ）
- フィアット中央研究所（イタリア）
- フィレンツェ大学（イタリア）
- ボルボテクノロジーCorp（スウェーデン）
- コンチネンタル・オートモーティブ（ドイツ）
- ヘラー（ドイツ）
- ブリュッセル自由大学（ベルギー）
- イディアダ・オートモーティブ・テクノロジー（スペイン）
- Transport Research Laboratory（英国）
- 原子力エネルギー庁（フランス）
- Endesa（スペイン）
- Enel Distribuzione（イタリア）
- FUNDACION CIRCE（スペイン）
- トリノ工科大学（イタリア）
- ロンドン交通局（英国）
- BAEシステムズ（英国）



画像出所：プロジェクトHP



URBAN-EV

Super Light Architectures for Safe and Affordable Urban Electric Vehicles

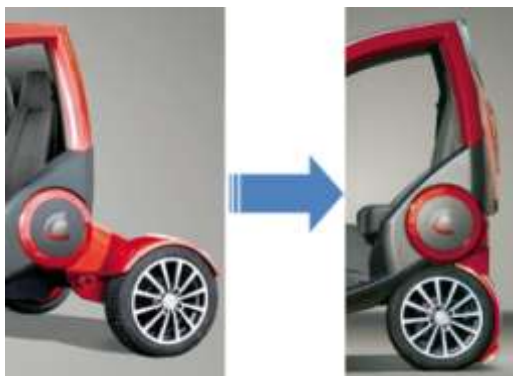
安全で手頃な価格の超軽量街乗りEV

当該プロジェクトでは、革新的な製造技術や材料を使って、SoTA EVに比べて大幅に自律性を向上させた2シーートの街乗りEVのプロトタイプを作成する。コンパクトながら一般的な乗用車と同等の乗員安全性レベルを目指す。

コーディネーター	Christian Diefenbach
研究機関（国名）	フラウンホーファー構造耐久性・システム信頼性研究所（LBF）（ドイツ）
ホームページ	https://www.urban-ev.eu/
実施期間	2013年9月1日～2016年8月31日
助成枠組み	FP7
研究対象	車両
助成母体	EU

プロジェクトパートナー：

- フラウンホーファー構造耐久性・システム信頼性研究所（LBF）（ドイツ）
- Fundacion Cidaut（スペイン）
- Leichtmetall Kompetenzzentrum Ranshofen (AIT-LKR)（オーストリア）
- Fonderia Maspero（イタリア）
- Grupo Antolin-Ingenieria（スペイン）
- PST Products（ドイツ）
- PE International（ドイツ）
- Tubitak（トルコ）
- Casple（スペイン）
- Creadora New Business Concepts（スペイン）



画像出所：プロジェクトHP



VENUS

Switched/Synchronous Reluctance Magnet-free Motors for Electric Vehicles

電気自動車用の交換型／同期リラクタンス磁石フリーモーター

軸方向磁束スイッチトリラクタンスモータ（axial-flux SRM）とフェライト磁石補助形同期リラクタンスモータ（PMASynRM）を（EV出力密度の要件を満たした上で）これらの共通点とシナジーを活用しながら同時開発すること。設計や試作段階では、商用EVに統合するために、さらに最適なソリューションを選び出す。

コーディネーター	Ana Arizaga
研究機関（国名）	FUNDACION TEKNIKER（スペイン）
ホームページ	http://cordis.europa.eu/project/rcn/110532_en.html
実施期間	2013年11月1日～2016年10月31日
助成枠組み	FP7
研究対象	電気モーター
助成母体	EU

プロジェクトパートナー：

- FAGOR ELECTRONICA, S. COOP.（スペイン）
- LOTUS CARS LIMITED（英国）
- DR.-ING. ERNST BRAUN GMBH ENTWICKLUNG ELEKTRISCHER MASCHINEN, ANTRIEBE UND STEUERUNGEN（ドイツ）
- MOTOR DESIGN LTD（英国）
- MONDRAGON GOI ESKOLA POLITEKNIKOA JOSE MARIA ARIZMENDIARRIETA S COOP（スペイン）

第 2 部【実証試験編】

aDSM

Active Demand-Side-Management by renewable generation forecast

再生可能エネルギー変動予測を活用した電力需要管理システム

分散知能を使った階層的でスケーラブルな配電システムを開発することを目指す。ローカルな再生可能エネルギーを家庭やEV用としてフレキシブルに利用する。電力変動予測に基づいて、負荷平準化や充電の制御を積極的かつ予測的に実施。それでもローカルの電力需給が逼迫した場合は、送信電力網などの上位システムや貯蔵エネルギーを使って調整する。このシステムにより、ストレージの要件だけでなくネットワークの負荷を低減させることが可能となる。

コーディネーター	Univ.Prof.Dr.-Ing.Wolfgang Gawlik
研究機関（国名）	ウィーン工科大学 （オーストリア）
ホームページ	http://www.ea.tuwien.ac.at/projects/adsm/EN/
実施期間	2012 年 3 月 1 日～ 2014 年 1 月 31 日
実施地域	オーストリア
助成枠組み	—
助成母体	AT

プロジェクトパートナー：

- Austrian Power Grid AG（APG）
（オーストリア）
- ウィーン工科大学（オーストリア）
- Vorarlberger Elektroautomobil Planungs- und Beratungs GmbH（オーストリア）
- Zentralanstalt für Meteorologie und Geodynamik（オーストリア）



AMPERE

Allgemeiner Praxistest für Elektrofahrzeuge mit verlängerter Reichweite E-REV

航続距離延長型 EV のフリートテスト

300 台の EV を使って、日常的な条件下におけるエクステンデッド・レンジの効果について調査する。オペルの「アンペラ」の航続距離は通常 40 ～ 80km だが、エクステンデッド・レンジを活用することで延長できる。当該プロジェクトは、欧州最大級の EV フリートテストであり、EV および公共交通インフラについて、現実の条件下における利用に関する価値のある情報がもたらされると期待される。

コーディネーター —

研究機関（国名） ベルリン工科大学（ドイツ）
アダムオペル AG（ドイツ）

ホームページ http://www.fvb.tu-berlin.de/menue/forschung/abgeschlossene_projekte/ampere/

実施期間 2013 年 1 月～ 2015 年 12 月

実施地域 ライン・マイン地方（ドイツ）

助成枠組み 連邦交通・建設・都市開発省（ドイツ）

助成母体 DE

プロジェクトパートナー：

- ベルリン工科大学 Fachgebiet Kraftfahrzeuge（ドイツ）
- アダムオペル AG（ドイツ）
- ヴァッテンフォール・ヨーロッパ・イノベーション GmbH（ドイツ）



VATTENFALL



Gefördert durch:



Bundesministerium
für Verkehr, Bau
und Stadtentwicklung

Koordiniert durch:

NOW
Berliner Ingenieur-Universität
und Betriebswirtschaftslehre



画像出所：ベルリン工科大学プロジェクト HP



BAEPS

Bulgarian Electric Vehicle Association

ブルガリア電気自動車協会

ブルガリアの複数の都市で EV 事業の採算性を調査する。参加者 100 人、車両 300 台で、充電ポイントは 150 ヶ所用意する。調査の対象となるのは公共交通機関。

ブルガリア電気自動車協会（BAEPS）は、全国に EV を普及させるという使命を負っている。そのために、イベントの開催、専門および一般メディアへの情報発信、官民パートナーとの共同パイロットプロジェクトの運営、主要ステークホルダーとのコンファレンスや円卓会議の実施などに幅広く取り組んでいる。

コーディネーター	Alexandra Georgieva
研究機関（国名）	ブルガリア電気自動車協会 （ブルガリア）
ホームページ	http://baeps.org/
実施期間	—
実施地域	ソフィア、プロヴディフ、ヴァルナ、ブルガス、スタラ・ザゴラ、ルセ、プレヴェン（ブルガリア）
助成枠組み	—
助成母体	BG

プロジェクトパートナー：

- BMW ブルガリア（ブルガリア）
- EL ドライブ（ブルガリア）
- eMobility.bg（ブルガリア）
- ITR Services（ブルガリア）
- 起亜自動車ブルガリア
- Omnicar Auto（ブルガリア）
- ポルシェブルガリア（ブルガリア）
- Chariot Motors（ブルガリア）



画像出所：プロジェクト HP

BEAMS

Buildings Energy Advanced Management System

高度なエネルギー管理システムの構築

当該プロジェクトは、総合的な観点からビルや特殊インフラのエネルギー効率を高める高度な統合管理システムを開発することを目指す。

コーディネーター	Antonio Marqués
研究機関（国名）	ETRA INVESTIGACION Y DESARROLLO SA （スペイン）
ホームページ	https://cordis.europa.eu/project/rcn/100732_en.html
実施期間	2011 年 10 月 1 日～ 2014 年 6 月 30 日
実施地域	バルセロナ（スペイン）、レッチェ （イタリア）
助成枠組み	FP7
助成母体	EU

プロジェクトパートナー：

- フ라운ホーファー研究機構（ドイツ）
- FUNDACIO PRIVADA BARCELONA DIGITAL CENTRE TECNOLÓGIC（スペイン）
- SODEXO FACILITIES MANAGEMENT SA（スペイン）
- SODEXO ESPAÑA SA（スペイン）
- INSTITUTE OF COMMUNICATION AND COMPUTER SYSTEMS（ギリシャ）
- ソレント大学（イタリア）
- Thales Italia spa（イタリア）

BodenseeMobil

ボーデン湖地域の電気自動車

当該プロジェクトでは、ボーデン湖（ドイツ・オーストリア・スイスの国境地帯）地域の住民がEVを生活の足として使うよう促すとともに、公共交通を補完することを目指す。EVは再可エネ電力で充電し、環境に全く負荷が掛らない環境調和型モビリティを実現する。

コーディネーター	—
研究機関（国名）	—
ホームページ	https://www.now-gmbh.de/en/electromobility-model-regions/projektfinder/modellregionen/weitere-regionen/bodenseemobil
実施期間	2012年11月1日～2015年4月30日
実施地域	フリードリヒスハーフェン（ドイツ）
助成枠組み	連邦交通・建設・都市開発省（ドイツ）
助成母体	DE

プロジェクトパートナー：

- ドイツ鉄道Fuhrpark Service GmbH（ドイツ）
- Tシステムズ・インターナショナル（ドイツ）
- ベルリン工科大学（ドイツ）
- Innovationszentrum für Mobilität und gesellschaftlichen Wandel (Innoz) GmbH（ドイツ）
- Landratsamt Bodenseekreis（ドイツ）
- バーデン=ヴュルテンベルク二元大学（ドイツ）
- Stadtwerk am See GmbH & Co. KG（ドイツ）
- HaCon Ingenieurgesellschaft mbH（ドイツ）



画像出所：プロジェクト HP

Citymobil2

シティモビル2

欧州の都市は、モビリティに関する4つの課題、◇渋滞◇土地利用◇安全性◇環境、に直面している。これらの問題の主な要因として、自家用車の所有率が高いことが挙げられる。大都市の中心部では、効率のよい公共交通網を構築したり、自家用車の乗り入れを制限したりすることで、この問題に対処しているが、郊外や小さな町では未だに自家用車への依存が大きい。

当該プロジェクトでは、準自動運転車のカーシェアリングから、自動走行車「サイバーカーズ」

(CyberCars)、個人高速輸送システム(PRT: Personal Road Transit)やバス高速輸送システム(BRT: Bus Road Transit)まで、持続可能な都市モビリティを実現する技術がどのような輸送コンセプトを生むか検証する。自動運転車の配備には◇実施の枠組み◇法的枠組み◇経済効果が未知数であること、の3つの障壁があることが知られるが、このプロジェクトではこれらに対処することも視野に入れる。

コーディネーター Adriano Alessandrini

研究機関(国名) フィレンツェ大学(イタリア)

ホームページ <http://www.citymobil2.eu/en/>

実施期間 2012年9月1日～2016年8月31日

実施地域 ラ・ロシェル(フランス)、サン＝シュルピス・ウエストローザンヌ、ジュネーブ(スイス)、ミラノ、オリスターノ(イタリア)、ヴァンター(フィンランド)、レオン(スペイン)

助成枠組み FP7

助成母体 EU

プロジェクトパートナー:

- フランス国立情報学自動制御研究所(フランス)
- レッジョ・ディ・カラブリア自治体(イタリア)
- サウサンプトン大学(英国)
- ORTI SRL(イタリア)
- GEAJ-M VALLOTTON ET T. CHANARD ARCHITECTES-URBANISTES FSU SA(スイス)
- サン＝シュルピス自治体(スイス)
- POLIS - PROMOTION OF OPERATIONAL LINKS WITH INTEGRATED SERVICES, ASSOCIATION INTERNATIONALE(ベルギー)
- スイス連邦工科大学ローザンヌ校(スイス)
- 欧州道路輸送テレマティクス導入コーディネート機関(ベルギー)
- AUTOBUSES URBANOS DE LEON SA(スペイン)
- ISTITUTO DI STUDI PER L'INTEGRAZIONE DEI SISTEMI(I.S.I.S) - SOCIETA' COOPERATIVA(伊)
- COMMUNAUTE D'AGLOMERATION DE SOPHIA ANTIPOLIS(仏)
- リーズ大学(英国)
- ヴァンター市(フィンランド)
- ドイツ航空宇宙センター(ドイツ)
- VANTAAN INNOVAATIOINSTITUUTTI OY(フィンランド)
- Move Mile S.A.(ポルトガル)

※次ページに続く

Citymobil2

シティモビール2 ※前ページの続き

プロジェクトパートナー：

- HELSINGIN SEUDUN LIIKENNE-KUNTAYHTYMA (フィンランド)
- LIIKENTEN TURVALLISUUSVIRASTO (フィンランド)
- LIIKENNEVIRASTO (フィンランド)
- METROPOLIA AMMATTIKORKEAKOULU OY (フィンランド)
- ADMINISTRATION DE L'EQUIPEMENT ET DES DEPLACEMENTS (ベルギー)
- STRATEC SA (ベルギー)
- COMMUNAUTE D'AGGLOMERATION DE LA ROCHELLE (フランス)
- レオン市カウンシル (スペイン)
- ラ・ロシェル自治体 (フランス)
- PROXIWAY SA (フランス)
- ASSOCIATION DE GESTION DE L'ECOLE D'INGENIEURS EN GENIE DES SYSTEMES INDUSTRIELS (フランス)
- ANAPTYXIAKI ETAIREIA DIMOU TRIKKAION ANAPTYXIAKI ANONYMI ETAIREIA OTA - E-TRIKALA AE (ギリシャ)
- INSTITUTE OF COMMUNICATION AND COMPUTER SYSTEMS (ギリシャ)
- COMUNE DI ORISTANO (イタリア)
- Systematica S.r.l (イタリア)
- ARST SPA (イタリア)
- Clickutility On Earth srl (イタリア)
- FUNDACION TECNALIA RESEARCH & INNOVATION (スペイン)
- NOVADAYS SL (スペイン)
- 欧州原子核研究機構 (スイス)
- ミラノ市 (イタリア)
- SYSTEMATICA MOBILITY THINKLAB SRL (イタリア)
- 2 GETTHERE BV (オランダ)
- ROBOSOFT SA (フランス)
- INDUCT SAS (フランス)
- ヤマハ・モーター・ヨーロッパ N.V. (オランダ)
- VisLab srl (イタリア)
- イージーマイル (フランス)
- ローマ・ラ・サピエンツァ大学 (イタリア)



画像出所：プロジェクト HP

CologneE-mobil II

ケルンEモビリティ第2 フェーズ

先行する第1フェーズの経験に基づいて、Eモビリティシステムを全体として概念的に捉え直す。タクシーの運行やカーシェアリングなども導入しつつ、引き続きプロジェクトの発展と履行に取り組んでいく。第2フェーズでは、第1フェーズで使用した17台のほかに、新たに49台を追加して、プラグインハイブリッドに関する技術開発を推し進める。既存の総合的なアプローチを深めるとともに、大都市部向けのその他のEモビリティの導入も進めていく。

コーディネーター Dr. Roland Krüger

研究機関（国名） ライン・エナジー AG（ドイツ）

ホームページ <https://www.now-gmbh.de/de/bundesfoerderung-elektromobilitaet-vor-ort/projektfinder/modellregionen/rhein-ruhr/cologne-mobil-ii>

実施期間 2012 年から 3 年間

実施地域 ライン・ルール地方（ドイツ）

助成枠組み 連邦交通・建設・都市開発省（ドイツ）

助成母体 DE

プロジェクトパートナー：

- Ford（ドイツ）
- ライン・エナジー AG（ドイツ）
- ケルン市（ドイツ）
- デュースブルグ・エッセン大学（ドイツ）
- ケルン市交通局（ドイツ）
- Regionalverkehr Köln GmbH（ドイツ）
- ケルン・ボン空港（ドイツ）
- Tüv Rheinland AG（ドイツ）
- TAXI RUF Köln eG（ドイツ）
- ドイツ鉄道（ドイツ）
- Energiebau Solorstromsysteme GmbH（ドイツ）
- TRC Transportation, Research & Consulting GmbH（ドイツ）
- Auto-Strunk（ドイツ）



画像出所：プロジェクト HP

COMPETT

コンペット

さまざまな現行 EV モデルについて、その機能と潜在的な障壁を調査する。EV のコストと利益を示す経済モデルを開発することを目指す。EV のノイズについても分析する。

コーディネーター	—
研究機関（国名）	—
ホームページ	（閉鎖）
実施期間	—
実施地域	ノルウェー、デンマーク、オーストリア
助成枠組み	ERA NET (EU) + Countries
助成母体	EU,NO,DK,AT

プロジェクトパートナー：

※詳細不明

DaBrEm

Dalian - Bremen Elektro-Mobilität

中国・大連市と独ブレーメン市におけるE モビリティ

独ブレーメンとその友好都市である中国の大連市が共同で、新型のコンセプトカーを使って得られたデータロギングや分析結果について調査した。今日の実際のEV使用について評価するだけでなく、将来への展望も明らかにすることを目指す。

コーディネーター	M.S.c Mehmed Yüksel
研究機関（国名）	ドイツ人工知能研究センター（ドイツ）
ホームページ	https://robotik.dfki-bremen.de/de/forschung/projekte/dabrem.html
実施期間	2013 年 7 月 1 日～ 2015 年 12 月 31 日
実施地域	ブレーメン、オルデンプルグ（ドイツ）
助成枠組み	連邦交通・建設・都市開発省（ドイツ）
助成母体	DE

プロジェクトパートナー：

- フラウンホーファー生産技術・応用マテリアル研究所（IFAM /ドイツ）
- ドイツ人工知能研究センター（DFKI /ドイツ）



画像出所：DFKI プロジェクト HP

Dynamische induktive Energieübertragung

ダイナミックなインダクティブ式動力伝達装置

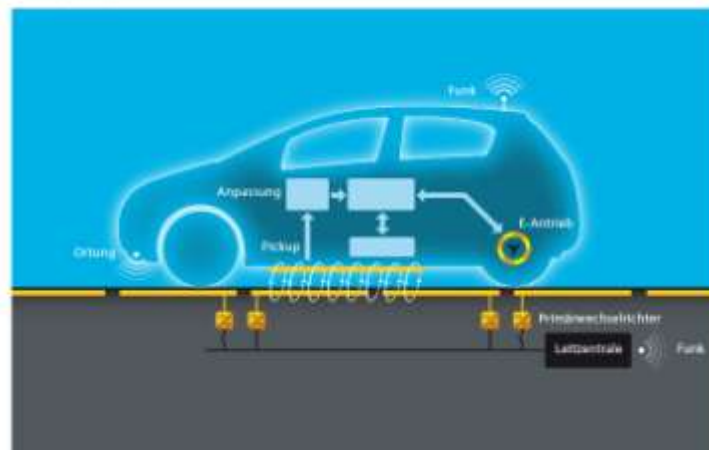
当該プロジェクトでは、EV は充電スタンドとケーブルで接続しなくとも、走行中にワイヤレス給電方式で充電できるということを実証する。トランスラピッド（Transrapid / ドイツで開発された磁気浮上式高速鉄道）の非接触給電システムは、超高速かつほぼ損失することなく大量の電力を送ることができる点が世界に感銘を与えた。本プロジェクトでは、このダイナミックかつインダクティブ式の給電装置のコンセプトを追求する。最新の課題としては、システム・コンポーネント（プライマリーケーブル、コンバーター、測位システム）やセグメント長、ケーブル・ジオメトリについて最適な構造を定義することなどが挙げられる。

コーディネーター	—
研究機関（国名）	—
ホームページ	—
実施期間	2011 年～ 2013 年
実施地域	ブレーメン、オルデンプルグ（ドイツ）
助成枠組み	連邦交通・建設・都市開発省（ドイツ）
助成母体	DE

プロジェクトパートナー：

- ABB
- Max Bögl Bauunternehmung
- Prysmian Group, Draka (Hochfrequenzkabel)
- TRIDELTA Weichferrite
- フラウンホーファー生産技術・応用材料研究所（IFAM / ドイツ）
- INTIS Integrated Infrastructure Solutions GmbH（ドイツ）

Was macht die dynamische induktive Energieübertragung so einzigartig?



画像出所：INTIS ホームページ

Ebridge

Eブリッジ



当該プロジェクトでは、欧州主要都市における新たなモビリティ・コンセプトやサービスの導入を推進することを目指す。EV は近未来の都市や都市圏の交通を大きく変革する可能性を秘めている。当該プロジェクトは、EV の利用について、自動車ユーザーやモビリティ・サービス事業者、フリートの管理事業者、政策立案者の意識を変革することも重視している。

コーディネーター	—
研究機関（国名）	—
ホームページ	http://www.ebridge-project.eu/en/
実施期間	—
実施地域	ベルリン（ドイツ）、オーストリア自治体、ビーゴ、バレンシア～パルマ（スペイン）、ミラノ（イタリア）、リスボン（ポルトガル）、カーマーゼンシャー（英国）
助成枠組み	Intelligent Energy Europe, EU
助成母体	EU

プロジェクトパートナー：

- choice GmbH（ドイツ）
- ドイツ鉄道 FuhrparkService GmbH（ドイツ）
- Fondazione Legambiente Innovazione（イタリア）
- Forschungsgesellschaft Mobilität - Austrian Mobility Research gem. GmbH（オーストリア）
- Mobility Institute Vorarlberg（オーストリア）
- Comunitat Autònoma de les Illes Balears（スペイン）
- I Nova Consultores en Excelencia e Innovación Estratégica, S.L.（スペイン）
- CEAGA-Galicia Cluster of Automotive Companies（スペイン）
- Movilidad Urbana Sostenible S.L.（スペイン）
- Azienda Trasporti Milanesi SpA（イタリア）
- カーディフ大学（英国）
- Occam（ポルトガル）
- リスボン市（ポルトガル）



画像出所：プロジェクト HP

E-Carflex Business

E-カーフレックスビジネス



当該プロジェクトでは、独ノルトライン・ヴェストファーレン州の州都デュッセルドルフで、バーチャルな公共カープールに、新たに調達した EV31 台を導入する。第 1 フェーズでは企業が事業目的で利用するが、第 2 フェーズでは平日の営業時間後や週末に従業員に私的な目的で貸し出される。

コーディネーター

研究機関（国名） デュッセルドルフ市（ドイツ）

ホームページ <https://www.now-gmbh.de/de/bundesfoerderung-elektromobilitaet-vor-ort/projektfinder/modellregionen/rhein-ruhr/e-carflex-business>

実施期間 2012 年 10 月 1 日～ 2016 年 12 月 31 日

実施地域 ライン・ルール地方（ドイツ）

助成枠組み ドイツ連邦交通・建設・都市開発省

助成母体 DE

プロジェクトパートナー：

- デュッセルドルフ市（ドイツ）
- ドライブ・カーシェアリング GmbH（ドイツ）
- Stadtwerke Düsseldorf AG（ドイツ）
- Wuppertal Institut Klima, Umwelt, Energie GmbH（ドイツ）



画像出所：HyER ホームページ

E-FACTS

Electric Vehicles For Alternative City Transport Systems

都市交通システムの代替手段としての電気自動車

当該プロジェクトは、慎重に選ばれた複数のデモンストレーションを通じて、都市物流および乗客輸送用 EV に対する理解を促すことを目指す。さらには、ヴァンダリズム（意図的に行われる器物損壊行為）を避け、全ての市民が利用できる、グリーン電力が供給される公共充電設備を整備することも目標となる。利害関係者が、駐車場、ガレージ、ショッピングモール、パークアンドライド、空港などにプロジェクトで策定した勧告にしたがって、充電設備が設置されることを後押しする。

コーディネーター	Ansgar Roese
研究機関（国名）	Wirtschaftsförderung Frankfurt GmbH （ドイツ）
ホームページ	http://www.frankfurtemobil.de/27-1-E-FACTS.html
実施期間	2013 年 4 月 1 日～ 2015 年 6 月 30 日
実施地域	アーネム（オランダ）、フランクフルト（ドイツ）、ストックホルム（スウェーデン）
助成枠組み	ERA NET (EU) + Countries
助成母体	EU, SE, DE, NL

プロジェクトパートナー：

- Wirtschaftsförderung Frankfurt GmbH（ドイツ）
- Fachhochschule Frankfurt（ドイツ）
- スtockホルム市（スウェーデン）
- アーネム市（オランダ）

E-Fleet

E フリート

ープロジェクトの概要ー

- ・ 空港に特有な要件を踏まえて、EV が航空機の出発準備や各種サービスに適合するか検証する。
- ・ 電力需給に査づいて充電を制御する最適化手法の調査
- ・ 空港に特化した充電システムの標準の策定
- ・ 異なる充電システムの比較
- ・ ユーザーアクセプタンスの分析と改善
- ・ “E モビリティ連合” 調査結果の活用

コーディネーター Andreas Eibensteiner

研究機関（国名） Fraport AG（ドイツ）

ホームページ ー

実施期間 2012 年 8 月 1 日～ 2015 年 7 月 31 日

実施地域 ライン・マイン地方（ドイツ）

助成枠組み 連邦交通・建設・都市開発省（ドイツ）

助成母体 DE

プロジェクトパートナー：

※詳細不明



E-GOMOTION

Eゴモーション

当該プロジェクトでは、欧州の主要大学 5 校（2013 年 4 月 15 日にチャルマース工科大学が抜けてからは 4 校）が陸上輸送セクターの電化に向けコンソーシアムを形成し、協調して以下の取り組みを実施する。
◇電化による雇用創出に関する評価と実証◇同セクターにおける若者の就職を促進する◇若者を対象にしたキャンペーンをアレンジする。

コーディネーター	—
研究機関（国名）	—
ホームページ	https://egvi.eu/projectslist/29/37/e-gomotion
実施期間	—
実施地域	—
助成枠組み	FP7
助成母体	EU

プロジェクトパートナー：

- チャルマース工科大学（スウェーデン）
- カールスルーエ工科大学（ドイツ）
- パリ国立高等鉱業学校（フランス）
- トリノ工科大学（イタリア）
- アーヘン工科大学-IKA（ドイツ）

当該プロジェクトは、北海沿岸の港湾地域に持続可能な物流システムを構築することを目標としている。

コーディネーター	Jan Schreuder
研究機関（国名）	ザーンスタット自治体（オランダ）
ホームページ	http://eharbours.eu/
実施期間	2014 年 7 月～ 2015 年 7 月
実施地域	アバディーン（英国）、アムステルダム（オランダ）、アントワープ（ベルギー）、ハンブルク（ドイツ）、マルメ（スウェーデン）、スカロウェイ（英国）、ザーンスタット（オランダ）
助成枠組み	Interreg, EU
助成母体	EU

プロジェクトパートナー：

- ザーンスタット自治体（オランダ）
- アムステルダム自治体（オランダ）
- アントワープ港（ベルギー）
- マルメ市（スウェーデン）
- ハンブルク応用化学大学（ドイツ）
- Pure Energy Centre（英国）
- ロバートゴードン大学（英国）
- VITO（ベルギー）



画像出所：プロジェクト HP

Electric Urban Freight Transport

電力による都市の貨物輸送

オランダ中部・アーネム/ナイメーヘン地域の都市物流に電気車両を導入する。すでに充電ステーション（32A、AC）1基の設置が完了し、Smith社のEV「エジソン」（車載電池：80kWh）1台がコントロール用車両として投入されている。

このプロジェクトで輸送用に使用するオランダ Spijkstaal/Smith 製のフル電気トラック（車載電池：120kWh）3台はすでに発注済み。これらの車両向けに充電ステーション（63A、AC）3基も必要となる。2013年秋には、これらの車両の配備も完了する予定。

コーディネーター	—
研究機関（国名）	—
ホームページ	—
実施期間	—
実施地域	ナイメーヘン地域（オランダ）
助成枠組み	—
助成母体	NL

プロジェクトパートナー：

※詳細不明

elektromobilisiert.de

Entwicklung eines Services zur Elektrifizierung von Fuhrparkflotten

フリート電化のためのサービス開発

当該プロジェクトでは、フリート事業者がEVをフリートに統合する際のサポートを提供する。そのために、産業パートナー7社それぞれの経済および環境条件を考慮しつつ、ログブックに基づくフリートのソフトウェア分析を行う。

コーディネーター	—
研究機関（国名）	フラウンホーファー労働経済・組織研究所（ドイツ）
ホームページ	https://www.now-gmbh.de/de/bundesfoerderung-elektromobilitaet-vor-ort/projektfinder/modellregionen/stuttgart/elektromobilisiert-de
実施期間	2011 年 10 月 1 日～ 2014 年 6 月 30 日
実施地域	シュトゥットガルト（ドイツ）
助成枠組み	連邦交通・建設・都市開発省（ドイツ）
助成母体	DE

プロジェクトパートナー：

- フラウンホーファー労働経済・組織研究所（ドイツ）
- Universität Stuttgart Institut für Arbeitswissenschaft und Technologiemanagement –IAT（ドイツ）
- Langmatz GmbH（ドイツ）



画像出所：プロジェクト HP

ELENA II

Elektroantriebs-Nachrüstätze für Lieferwagen

エレナ II

当該プロジェクトでは、中堅企業と研究機関で構成するコンソーシアムが、中小企業でよく利用されている従来の配送用バン向けに電気駆動変換キットを開発する。中小企業はこのキットにより、わずかな投資で既存車両をEV化することができるため、より迅速でスムーズな電動駆動化への移行が可能となる。

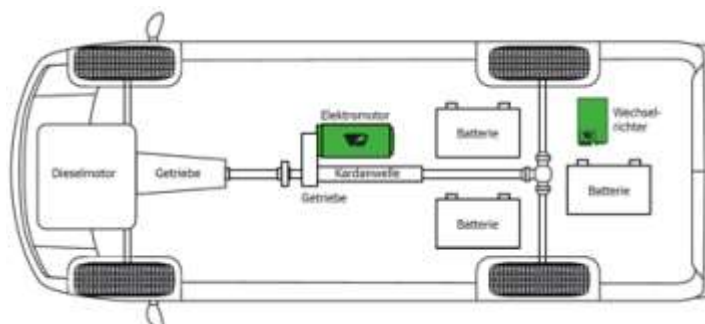
コーディネーター	—
研究機関（国名）	—
ホームページ	https://www.now-gmbh.de/de/bundesfoerderung-elektromobilitaet-vor-ort/projektfinder/modellregionen/stuttgart/elena-ii
実施期間	2012 年 3 月 1 日～ 2013 年 8 月 31 日
実施地域	シュトゥットガルト（ドイツ）
助成枠組み	連邦交通・建設・都市開発省（ドイツ）
助成母体	DE

プロジェクトパートナー：

- ARADEX Aktiengesellschaft（ドイツ）
- Forschungsinstitut für Kraftfahrwesen und Fahrzeugmotoren Stuttgart (FKFS)（ドイツ）
- フ라운ホーファー研究機構（ドイツ）
- エスリンゲン大学（ドイツ）
- フーバー・オートモーティブ AG（ドイツ）
- Lauer & Weiss GmbH（ドイツ）
- Horst Mosolf GmbH & Co.KG（ドイツ）
- WS Engineering GmbH & Co.KG（ドイツ）



画像出所：ARADEX 社 HP



ELEVTRA

Electric Vehicles Training

電気自動車の訓練プログラム

当該プロジェクトの主な目的は、電気自動車（EV）とその充電ステーション（CS）のメンテナンスや修理について、包括的かつ国際的で、標準化された訓練プログラムを策定することにある。

コーディネーター	Maria Mendez Fuente
研究機関（国名）	Fundación Metal Asturias（スペイン）
ホームページ	http://elevtra.org/ （閉鎖）
実施期間	2011 年 10 月～ 2014 年 10 月
実施地域	EU
助成枠組み	EU
助成母体	EU

プロジェクトパートナー：

- Fundación Metal Asturias（スペイン）
- Integrovaná střední škola automobilní (ISSA) Brno（チェコ）
- Šolski center Velenje（スロベニア）
- shecco SPRL（ベルギー）
- オビエド大学（スペイン）
- ボーフム専門大学（ドイツ）



画像出所：Cars21HP(www.cars21.com/news/view/703)



eMAP

Electromobility-scenario based Market potential, Assessment and Policy options

市場の潜在需要、評価、政策選択に基づくEVのシナリオ

当該プロジェクトでは、2025年から30年までの期間に実現可能なEVの展開状況について分析する。分析には、EVの需要と供給を特定するシナリオベースの市場モデルを使用する。

コーディネーター	Dr. Jan-André Böhne
研究機関（国名）	Federal Highway Research Institute (BAST)（ドイツ）
ホームページ	http://www.project-emap.eu/
実施期間	2012年～2015年
実施地域	EU
助成枠組み	ERA NET (EU) + Countries
助成母体	EU

プロジェクトパートナー：

- Federal Highway Research Institute (BAST)（ドイツ）
- KE-CONSULT Kurte & Esser GbR（ドイツ）
- Institute of applied social sciences (INFAS)（ドイツ）
- German Aerospace Center (DLR), Institute of Vehicle Concepts（ドイツ）
- Technical Research Centre of Finland (VTT)（フィンランド）
- Motor Transport Institute (ITS)（ポーランド）



画像出所：プロジェクト HP

eMERGE

eMERGE: Wege zur Integration von Energie-, Fahrzeug-, Verkehrs- und Nutzeranforderungen - Flottentest in den Modellregionen Rhein/Ruhr und Berlin

イメージ：ライン・ルール地方とベルリンのモデル地域におけるフリートテストを通じて検証するエネルギー、車両、交通および利用者それぞれの要望の統合方法

当該プロジェクトの目標は、現行ネットワークの利用を改善するために、EV とスマート充電システムの技術的側面を検証することにある。

コーディネーター	—
研究機関（国名）	—
ホームページ	https://www.now-gmbh.de/de/bundesfoerderung-elektromobilitaet-vor-ort/projektfinder/modellregionen/rhein-ruhr/emerger
実施期間	2012 年 7 月 1 日～ 2015 年 6 月 30 日
実施地域	ライン・ルール地域（ドイツ）
助成枠組み	連邦交通・建設・都市開発省（ドイツ）
助成母体	DE

プロジェクトパートナー：

- ダイムラー AG（ドイツ）
- フ라운ホーファー研究機構（ドイツ）
- PTV Planung Transport Verkehr AG（ドイツ）
- RWE Effizienz GmbH（ドイツ）
- ベルリン工科大学（ドイツ）
- ジーゲン大学（ドイツ）
- アーヘン工科大学（ドイツ）

eMiO

Elektromobilität in Offenbach

オフエンバッハ市の電気自動車



ドイツ・オフエンバッハ市の公道に 40 台の EV（乗用車とバン）を投入して、“ユース&シェア” サービスを提供する。これらの EV は平日に市内の企業が営業車として使用する一方、週末や祝日には従業員がプライベートでその車を活用できるようにする。EV のマルチユースというビジネスモデルを構築するとともに、多様に活用することで利用率を向上させる。ニーズに応える格好で必要なインフラやサービスを拡充していく。同プロジェクトは「E モビリティアライアンス」に統合される。

コーディネーター Janine Mielzarek

研究機関（国名） Stadtwerke Offenbach Holding GmbH
（ドイツ）

ホームページ <https://www.offenbach.de/stadtwerke/microsite/emio/eMiO/Was-steckt-hinter-eMiO.php>

実施期間 2013 年～

実施地域 ライン・マイン地方（ドイツ）

助成枠組み 連邦交通・建設・都市開発省（ドイツ）

助成母体 DE

プロジェクトパートナー：

- Stadtwerke Offenbach Holding GmbH（ドイツ）

※その他不明



画像出所：プロジェクト HP ©Bernd Georg



画像出所：プロジェクト HP ©Alexander Habermehl

EMiS

Elektromobilität im Stauferland

シュタウファーランドにおける電気自動車

当該プロジェクトは、シュトゥットガルト地方にあるゲッピンゲンとシュヴェービッシュ・グミュントの2都市で実施される。シュトゥットガルト大学都市計画研究所のほか、6団体が参加し、都市開発ならびに気候変動目標に対し、EVがどのような貢献をするか調査する。

コーディネーター	ー
研究機関（国名）	ゲッピンゲン市 シュヴェービッシュ・グミュント市 （ドイツ）
ホームページ	https://www.now-gmbh.de/content/1-aktuelles/1-presse/20140207-erfolgreiche-konferenz-elektromobilitaet-vor-ort-fachkonferenz-fuer-kommunale-vertreter/emis_-_elektromobilitaet_im_stauferland_-_aleksandra_pointke.pdf
実施期間	2012 年 9 月 1 日～ 2015 年 6 月 30 日
実施地域	シュタウファーランド（ドイツ）
助成枠組み	連邦交通・建設・都市開発省（ドイツ）
助成母体	DE

プロジェクトパートナー：

- ゲッピンゲン市（ドイツ）
- シュヴェービッシュ・グミュント市（ドイツ）
- Energieversorgung Filstal GmbH（ドイツ）
- Stadtwerke Schwäbisch Gmünd GmbH（ドイツ）
- ETG Entsorgung + Transport GmbH（ドイツ）
- GOA mbH（ドイツ）
- Heldele GmbH（ドイツ）
- シュトゥットガルト大学（ドイツ）
- Wohnbau Göppingen GmbH（ドイツ）



画像出所：プロジェクト HP



E-Mobility NSR

North Sea Region Electric Mobility Network

北海地域のEモビリティネットワーク

当該プロジェクトは、北海地域におけるEモビリティ関連の政策決定をサポートする最新情報を提供する。マルチ充電技術の発展に向け、インフラ、物流、予備的な規格についてもギャップとニーズを洞察する。

コーディネーター	Walter Leal
研究機関（国名）	ハンブルク応用大学（ドイツ）
ホームページ	http://e-mobility-nsr.eu/
実施期間	2011 年 10 月～ 2014 年 4 月
実施地域	北海地域
助成枠組み	Interreg, EU
助成母体	EU



画像出所：プロジェクト HP



プロジェクトパートナー：

- ハンブルク応用化学大学（ドイツ）
- FDT – Association of Danish Transport and Logistics Centres（デンマーク）
- Lindholmen Science Park（スウェーデン）
- デルフト工科大学（オランダ）
- ホイイトスロプ市（デンマーク）
- ノーザンブリア大学（英国）
- 北ホラント州（オランダ）
- Zero Emission Resource Organisation（ノルウェー）
- ロンドン・メトロポリタン大学ビジネス法学部（英国）
- WFB Wirtschaftsförderung Bremen GmbH（ドイツ）

＜サブパートナー＞

- ニューキャッスル市（英国）
- アムステルダム自治体（オランダ）
- ロンドン交通局（英国）
- 南西ロンドン交通同盟（英国）
- ハートフォードシャー州（英国）
- Accessible Transport Service（英国）

EV pilot project of the CEZ Group

CEZ グループの電気自動車試験プロジェクト

当該プロジェクトでは、チェコ全土の主要道路（北部ウースチー・ナド・ラベム～南部ブジェツラフ、東部ロズヴァトフ～西部オストラバ）に 42 の充電ステーションを設置する。充電ステーションは、標準容量のバッテリーが 30 分毎に充電可能な間隔で設置する。

コーディネーター	－
研究機関（国名）	CEZ グループ（チェコ）
ホームページ	http://www.elektromobilita.cz/
実施期間	2016 年～ 2018 年
実施地域	チェコ各地
助成枠組み	CZ
助成母体	CZ

プロジェクトパートナー：

- CEZ Electromobility（チェコ）
- BMW（チェコ）
- ヒュンダイ（チェコ）
- プジョー（チェコ）
- シュコダ（チェコ）
- 日産自動車（チェコ）
- フォルクスワーゲン（チェコ）
- ARRIVA（チェコ）
- 起亜自動車（チェコ）
- 三菱自動車（チェコ）
- メルセデスベンツ（チェコ）
- オペル（チェコ）
- スマート（チェコ）
- SOR Libchavy spol. S.r.o.（チェコ）

※他、チェコ各地の企業、ショッピングセンター、自治体



画像出所：CEZ グループ HP



eMOMA

Elektro-Mobilitätsmanagement

E モビリティ管理

当該プロジェクトでは、電気自動車の共用、社用車のプライベート利用を想定し、持続可能でコストベースかつマルチモードのモビリティ管理コンセプトの開発を目指す。

コーディネーター	Jonas Sägesser
研究機関（国名）	juwi R&D Research&Development GmbH&Co. KG (ドイツ)
ホームページ	http://www.offenbach.de/stepone/data/pdf/8d/20/00/soh_projektblaetter-emoma_screen.pdf
実施期間	2012 年 9 月 1 日～ 2015 年 8 月 31 日
実施地域	ライン・マイン地方（ドイツ）
助成枠組み	連邦交通・建設・都市開発省（ドイツ）
助成母体	DE

プロジェクトパートナー：

- juwi R&D Research&Development GmbH&Co. KG（ドイツ）
- EcoLibro GmbH（ドイツ）
- CSB-System AG（ドイツ）

EMOTIF

Elektromobiles Thüringen in der Fläche

テューリンゲン州の田園地帯における電気自動車

当該プロジェクトでは、テューリンゲン州の農村地帯で、公共交通とEVの組み合わせの有効性について検証する。EVから公共交通への乗り換え地点に、EVの充電インフラを整備することで、持続可能なモビリティソリューションを提供する。

コーディネーター	Claudia Hille
研究機関（国名）	エアフルト専門大学（ドイツ）
ホームページ	http://www.emotif.de/
実施期間	2012 年 10 月 1 日～ 2016 年 8 月 31 日
実施地域	テューリーゲン州（ドイツ）
助成枠組み	連邦交通・建設・都市開発省（ドイツ）
助成母体	DE

プロジェクトパートナー：

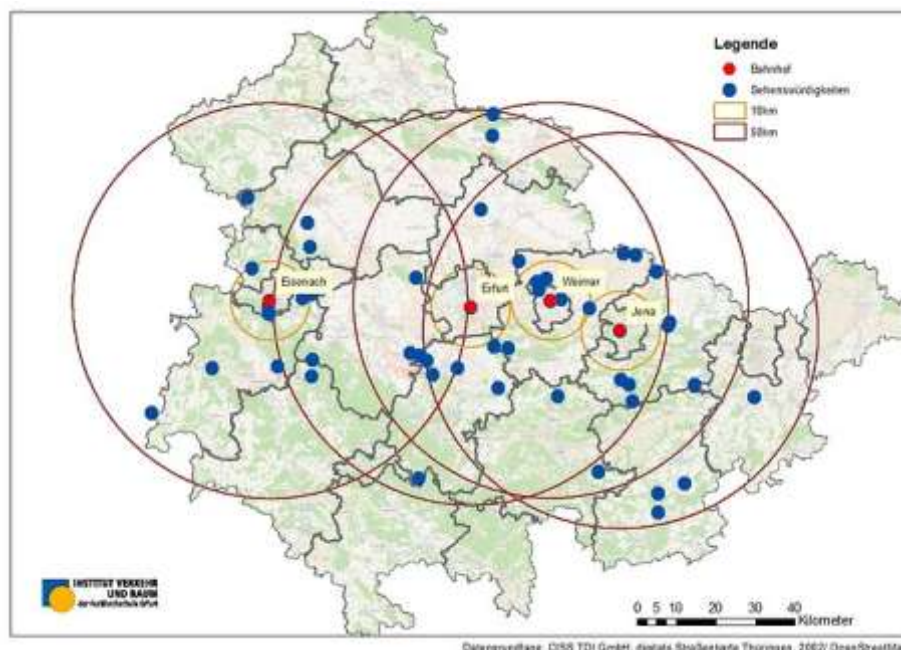
- エアフルト専門大学（ドイツ）
- DB Rent GmbH（ドイツ）
- Eisenacher Versorgungs-Betriebe GmbH（ドイツ）
- エアフルト・ツーリズム&マーケティング（ドイツ）
- Stadtwerke Energie Jena-Pößneck GmbH（ドイツ）
- Stadtwerke Weimar Stadtversorgungs-GmbH（ドイツ）

＜アソシエイトパートナー＞

- Eisenach-Wartburgregion Touristik GmbH（ドイツ）
- JenaKultur（ドイツ）
- Stadtwerke Erfurt Gruppe（ドイツ）
- weimar GmbH（ドイツ）



画像出所：プロジェクト HP





e-MoVe

elektromobiler Mobilitätsverbund Aachen

E ムーブ

当該プロジェクトでは、E モビリティを手段的、概念的、戦略的、機能的な見地から都市交通に統合することを目指す。これにより、E モビリティの幅広い普及に寄与する。

コーディネーター	Daniel Horn
研究機関（国名）	アーヘン工科大学 Institut für Stadtbaugesund Stadtverkehr (ISB) （ドイツ）
ホームページ	http://www1.isb.rwth-aachen.de/ eMove/
実施期間	2012 年 12 月 1 日～ 2015 年 6 月 30 日
実施地域	ライン・ルール地方（ドイツ）
助成枠組み	連邦交通・建設・都市開発省（ドイツ）
助成母体	DE

プロジェクトパートナー：

- アーヘン工科大学 Institut für Stadtbaugesund Stadtverkehr (ISB) （ドイツ）
- アーヘン市（ドイツ）
- Aachener Verkehrsverbund GmbH (AVV) （ドイツ）
- アーヘン市電・電力供給 (ASEAG) （ドイツ）
- Stadtwerke Aachen AG (STAWAG) （ドイツ）
- Cambio Aachen Stadtteilauto CarSharing GmbH （ドイツ）
- EcoLibro GmbH （ドイツ）
- アーヘン専門大学（ドイツ）
- Probst & Consorten MarketingBeratungen （ドイツ）



画像出所：プロジェクト HP



ENEVATE

European Network on Electric Vehicles and Transferring Expertise

欧州における EV 及び技術移行専門家のネットワーク

当該プロジェクトは、北西ヨーロッパの公的機関や企業の国境を越えた協力関係の構築を通じて、同地域における E モビリティの導入を加速することを目指す。同地域で急速に発展する EV 分野のイノベーションを促し、競争力を強化するとともに、CO₂ 排出量を削減するという喫緊の課題の解決にも貢献する。EV とエネルギーインフラ、統合されたモビリティのコンセプトを対象に、その潜在的な可能性についてデモンストレーションを行う。プロジェクトには、欧州 5 カ国から 14 のパートナーが参加して、ネットワークを構築する。

コーディネーター	Dr. Kord Pannkoke
研究機関（国名）	Bayern Innovativ（ドイツ）
ホームページ	http://www.enevate.eu/
実施期間	2010 年～ 2014 年
実施地域	北ブラバント州（オランダ）、モンテベリアル（フランス）、オート＝ノルマンディー地域圏（フランス）、英国北東部（英）、アイルランド
助成枠組み	Interreg, EU
助成母体	EU

プロジェクトパートナー：

- Bayern Innovativ（ドイツ）
- ※他、欧州 5 カ国から計 14 団体



画像出所：プロジェクト HP



e-pendler

e-pendler in niederösterreich

オーストリア南部におけるE モビリティ：技術を伴うリサーチ

『オーストリア南部における e-pendler』モデル地域の目的は、公共交通へのシフトならびに電気自動車の導入によって通勤交通を再構築すること。これを実行することによりエネルギーの効率化と環境にやさしい移動を実現する。加えて、電気自動車と公共交通という選択は、複数の輸送形式と組み合わせられるようになるだろう。

コーディネーター	Dipl.-Kffr. (Univ.) Katharina Olbrich
研究機関（国名）	EVN AG（オーストリア）
ホームページ	http://e-connected.at/content/key-facts-e-pendler-nieder%C3%B6sterreich
実施期間	—
実施地域	オーストリア南部
助成枠組み	AT
助成母体	AT

プロジェクトパートナー：

- EVN（オーストリア）
- ウィーンエネルギー（オーストリア）
- Raiffeisen Leasing（オーストリア）
- Ecoplus（オーストリア）



画像出所： www.emobility-graz.at

eQuartier Hamburg

ハンブルクのEVモデル地区



当該プロジェクトでは、新興住宅地や既存の住宅地向けにEVを使ったモビリティサービスを開発、実証することを目指す。将来的に個人住宅向けにEモビリティを導入する際に活用できる基本的な知見を得ることを目標としている。

コーディネーター Kathrin Gisdon

研究機関（国名） hySOLUTIONS（ドイツ）

ホームページ <https://elektromobilitaethamburg.de/laufende-projekte/carsharingprojekte/>

実施期間 —

実施地域 ハンブルク（ドイツ）

助成枠組み 連邦交通・建設・都市開発省（ドイツ）

助成母体 DE

プロジェクトパートナー：

- cambio CarSharing（ドイツ）
- D&K Drost Consult GmbH（ドイツ）
- GfG Hoch-Tief-Bau（ドイツ）
- ハーフェンシティ大学（ドイツ）
- hySOLUTIONS（ドイツ）
- Starcar（ドイツ）



画像出所：プロジェクト HP

当該プロジェクトでは、14団体が参加して、スイス国内の急速充電網を整備する。連邦道路事務所（Astra）のサポートの下、戦略的に重要となる200カ所を割り出して、設置作業を進めていく。
プロジェクトにおける3原則は以下の通り。

- ◇急速充電に対応した全車両が利用できるようにすること
- ◇24時間常時利用可能であること
- ◇課金システムはプロプライエタリではなく、かつ統一的な様式であること

コーディネーター	—
研究機関（国名）	Swiss eMobility（スイス）
ホームページ	http://www.swiss-emobility.ch/it/portrait/index.php
実施期間	2012 年～
実施地域	スイス各地
助成枠組み	CH
助成母体	CH

プロジェクトパートナー：

- Swiss eMobility（スイス）
- ※他 14 団体



画像出所：プロジェクト HP





EV-STEP

EV ステップ

当該プロジェクトでは、フル EV やプラグインハイブリッド車について、エネルギー、経済、環境のそれぞれの側面から長期的な戦略分析を行う。主要な対象期間は 2030 年までだが、EU の長期的な温室効果ガス削減目標に合わせ、2050 年まで延長する。

コーディネーター	Edi Assoumou
研究機関（国名）	ARMINES（フランス）
ホームページ	http://www.ev-step.com/index.html
実施期間	2012 年～ 2014 年
実施地域	フランス、ドイツ、デンマーク
助成枠組み	ERA NET (EU) + Countries
助成母体	EU, FR, DE, DK

プロジェクトパートナー：

- ARMINES Paris Tech（フランス）
- シュトゥットガルト大学エネルギー経済・合理的エネルギー利用研究所（ドイツ）
- デンマーク工科大学（デンマーク）
- CIRED（フランス）

EVUE

Electric Vehicles in Urban Europe

欧州の都市部における電気自動車

当該プロジェクトでは、EVの利用を促進するために、統合的で持続可能な戦略を策定することを目指す。モビリティに関するニーズを満たしながら、大気汚染や騒音問題をはじめ、地球温暖化などの環境問題にも対処する。

コーディネーター —

研究機関（国名） ウェストミンスター市（英国）

ホームページ <http://urbact.eu/evue-complete-overview>

実施期間 2009年10月10日～2012年12月31日

実施地域 ページャ、リスボン（ポルトガル）、カトヴィツェ（ポーランド）、マドリッド（スペイン）、フランクフルト（ドイツ）、オスロ（ノルウェー）、ストックホルム（スウェーデン）、スチャヴァ（ルーマニア）、ゾクラフォス（ギリシャ）、ロンドン（英国）

助成枠組み —

助成母体 EU

プロジェクトパートナー：

- ウェストミンスター市（英国）
- リスボン市（ポルトガル）
- マドリッド市（スペイン）
- フランクフルト市（ドイツ）
- カトヴィツェ市（ポーランド）
- スチャヴァ市（ルーマニア）
- スtockホルム市（スウェーデン）
- オスロ市（ノルウェー）



画像出所：プロジェクト HP

FREE-Freizeit

FREE-Freizeit-und Eventverkehre mit intermodal buchbaren Elektrofahrzeugen

自由な余暇と電気自動車を活用した一貫輸送・予約可能な観光客向け交通サービス

ドイツ・ヘッセン州北部の観光地やイベント開催地を訪れる観光客向けに、E モビリティを活用したインターモーダルな交通サービスを開発する。訪問者に、自家用車によるアクセスを避けるよう呼びかけるとともに、画期的なシステムを通じて、滞在先ホテルとともにこれらの交通手段を事前予約できるようにする。

コーディネーター	Nadja Gläser
研究機関（国名）	Regionalmanagement Nordhessen GmbH（ドイツ）
ホームページ	https://www.offenbach.de/medien/bindata/soh/Dokumente_ESO-2/soh_projektblaetter-free_screen.pdf
実施期間	2012 年 9 月 1 日～ 2015 年 8 月 31 日
実施地域	ライン・マイン地方（ドイツ）
助成枠組み	連邦交通・建設・都市開発省（ドイツ）
助成母体	DE

プロジェクトパートナー：

- Städtische Werke AG（ドイツ）
- Regionalmanagement Nordhessen GmbH（ドイツ）
- カッセル大学（ドイツ）
- E.ON Mitte AG（ドイツ）
- Heinrich Müller（ドイツ）
- カッセル交通社（ドイツ）



FREVUE

FREVUE FREIGHT ELECTRIC VEHICLES IN URBAN EUROPE

欧州の都市における貨物電気車両の検証

当該プロジェクトでは、欧州の8つの大都市（アムステルダム、リスボン、ロンドン、マドリッド、ミラノ、ロッテルダム、オスロ、ストックホルム）で、都市中心部のラストワンマイル物流にEVを活用するデモを行う。最新の大型電気バンや電気トラックは、従来のディーゼル車両に取って代わる、十分に実現可能な代替手段であることを証明する。ラストワンマイルへのEV投入で大幅なCO2排出削減が可能になる。

コーディネーター Matthew Noon

研究機関（国名） EVUE（英国）

ホームページ <http://frevue.eu/>

実施期間 —

実施地域 アムステルダム、ロッテルダム（オランダ）、リスボン（ポルトガル）、ロンドン（英国）、マドリッド（スペイン）、ミラノ（イタリア）、オスロ（ノルウェー）、ストックホルム（スウェーデン）

助成枠組み FP7

助成母体 EU

プロジェクトパートナー：

- EVUE（英国）
- ウェストミンスター市議会（英国）
- OVE ARUP & PARTNERS INTERNATIONAL LTD（英国）
- ATOS SPAIN SA（スペイン）
- Bring Express Norge AS（ノルウェー）
- リスボン市（ポルトガル）
- オスロ市（ノルウェー）
- スtockホルム市（スウェーデン）
- CTT Correios de Portugal SA（ポルトガル）
- Empresa Publica Municipal de Estacionamento de Lisboa（ポルトガル）
- Fortum Power and Heat AB（スウェーデン）
- ハイネケン・サプライチェーン B.V（オランダ）
- European Regions and Municipalities Partnership on Hydrogen and Fuel Cells（ベルギー）
- インペリアル・カレッジ・ロンドン（英国）
- Instituto Tecnológico del Embalaje, Transporte y Logística（スペイン）
- アムステルダム市（オランダ）
- マドリッド市（スペイン）
- ミラノ市（イタリア）
- 日産インターナショナル SA（英国）
- Grupo Leche Pascual（ポルトガル）
- Promotion of Operational Links with Integrated Services, Association Internationale（ベルギー）
- ロッテルダム市（オランダ）
- SEUR,S.A.（スペイン）
- STIFTELSEN SINTEF（ノルウェー）
- Smith Electric Vehicles（英国）
- 産業省交通局（スウェーデン）
- ロンドン交通局（英国）
- オランダ応用科学研究機構（オランダ）
- TNT エクスプレス・ワールドワイド（オランダ）
- UK パワーネットワーク LTD（英国）
- UPS ヨーロッパ SA / NU（英国）

GREEN HIGHWAY

Green Highway – A fossil fuel free transport corridor

グリーンハイウェイ～化石燃料フリーの輸送道路

当該プロジェクトはスズヴァル、エステルズンドとトロンハイムの3つの自治体間のパートナーシップで運営される。スズヴァル＝トロンハイム間の2カ国、3地域にまたがる総延長450kmが対象となる。化石燃料フリーな輸送回廊を構築するだけでなく、グリーン技術への投資が経済を後押しし、持続可能な成長と環境負荷低減に貢献すると実証することを目標としている。

コーディネーターと研究機関	Johan Klockar Öhrnell（スズヴァル市） Anne Sörensson（エステルズンド市）、Björn Ove Berthelsen（トロンハイム市）
ホームページ	http://www.greenhighway.nu/in-english/
実施期間	2011年～2014年
実施地域	スズヴァル、エステルズンド（スウェーデン）、トロンハイム（ノルウェー）
助成枠組み	Interreg, EU
助成母体	EU



画像出所：プロジェクト HP



プロジェクトパートナー：

- スズヴァル市（スウェーデン）
- エステルズンド市（スウェーデン）
- トロンハイム市（ノルウェー）
- イェムトランド県（スウェーデン）
- ヴェステルノールランド県（スウェーデン）
- ヘリエダーレン地方（スウェーデン）
- ミッドノルディック地方（スウェーデン）
- ブレッケコミュニティ（スウェーデン）
- Ånge kommun（スウェーデン）
- クロコムコミュニティ（スウェーデン）
- ミッドスウェーデン大学（スウェーデン）
- Sintef（ノルウェー）
- AGA（スウェーデン）
- Jämtkraft AB（スウェーデン）
- Näringslivsbolaget i Sundsvall AB（スウェーデン）
- BLOKRAFT（スウェーデン）
- スズヴァル・ティムロー空港（スウェーデン）
- Posten Norge（ノルウェー）
- ASKO（ノルウェー）
- Sundsvall Elnät（スウェーデン）
- Sundsvall Logistikpark（スウェーデン）

Grüne Mobilitätskette

ELEKTROMOBILITÄT MITTELDEUTSCHLAND – GRÜNE MOBILITÄTSKETTE

中部ドイツにおける電気自動車～グリーンモビリティの輪

ザクセン・アンハルト運輸サービス（NASA）を中心に、研究機関や運輸企業など 8 社が参加するプロジェクト。環境に優しいドア・ツー・ドア輸送を目指す。EV や IT の活用、カーシェアリング、インターモダルな公共交通網の構築などを通じて、包括的な「グリーン・モビリティ・チェーン」を実現する。

コーディネーター —

研究機関（国名） ザクセンアンハルト運輸サービス
（ドイツ）

ホームページ <https://www.nasa.de/gruene-mobilitaetskette/>

実施期間 2013 年～ 2016 年

実施地域 ザクセン＝アンハルト州（ドイツ）

助成枠組み 連邦交通・建設・都市開発省（ドイツ）

助成母体 DE

プロジェクトパートナー：

- ザクセンアンハルト運輸サービス（ドイツ）
- フラウンホーファー材料メカニズム研究所（ドイツ）
- HaCon Ingenieurgesellschaft mbH（ドイツ）
- IBH-Bauwerke（ドイツ）
- Hallesche Verkehrs-Aktiengesellschaft HAVAG (SWH)（ドイツ）
- TAF mobile GmbH（ドイツ）
- Thüringer Innovationszentrum für Mobilität（ドイツ）
- Verkehrsgemeinschaft Mittelthüringen GmbH (VMT)（ドイツ）



画像出所： www.nasa.de/gruene-mobilitaetskette/

Langstrecken-Elektromobilität

電気自動車と長距離

当該プロジェクトでは、EV の航続距離を延長する各種技術を検証する。具体的には回生ブレーキやレンジエクステンダー、急速充電技術などが対象となる。

コーディネーター —

研究機関（国名） ルール大学ボーフム（ドイツ）

ホームページ <https://www.now-gmbh.de/de/bundesfoerderung-elektromobilitaet-vor-ort/projektfinder/modellregionen/rhein-ruhr/alltagstauglichkeit-elektromobilitaet>

実施期間 2012 年 3 月 1 日～ 2014 年 12 月 31 日

実施地域 ライン・ルール地方（ドイツ）

助成枠組み 連邦交通・建設・都市開発省（ドイツ）

助成母体 DE

プロジェクトパートナー：

- Delphi Deutschland GmbH（ドイツ）
- ルール大学ボーフム（ドイツ）
- Stadtwerke Bochum Holding GmbH（ドイツ）
- アダムオペル AG（ドイツ）
- USB Umweltservice Bochum GmbH（ドイツ）
- GLS Gemeinschaftsbank eG（ドイツ）
- Franz Rüschkamp GmbH & Co. KG（ドイツ）



画像出所： <http://www.elektromobilitaet.nrw.de>

Leben im Westen

西部の生活

持続可能な形でEモビリティを統合する都市計画ツールを開発する。EVのレンタルステーションをはじめとするインフラの構築と開発は、既存の企業と起業家向けのモビリティコンサルティングと車両レンタルといった新たなビジネスモデルの重要なテーマとなる。雑多なEVモデルからなるフリートを構築するとともに、フリート事業者のニーズに合ったEVモデルを開発する。

コーディネーター Jens Weber

研究機関（国名） BSMF mbH（ドイツ）

ホームページ <https://www.offenbach.de/stadtwerke/microsite/e-wie-offenbach/projektleitstelle-elektromobilitaet/leben-im-westen.php>

実施期間 2013年2月1日～2016年1月31日

実施地域 ライン・マイン地方（ドイツ）

助成枠組み 連邦交通・建設・都市開発省（ドイツ）

助成母体 DE

プロジェクトパートナー：

- KEG mbH（ドイツ）
- BSMF mbH（ドイツ）
- PPP-Unternehmen der Stadt Frankfurt（ドイツ）



画像出所： www.keg-frankfurt.de/projekte/leben-im-westen



LEBENIMWESTEN
 NEUE MOBILITÄT

INITIATOREN



PRAXISPARTNER



SHARINGPOOL





Life+ DemoEV

ライフ+デモEV

気候変動の緩和に向けたEVの可能性に関するデモンストレーションを行う。プロジェクトには以下のフェーズが含まれる。

- ◇電気自動車の購入
- ◇充電スタンドの設置
- ◇市場調査の設計と実施
- ◇全サービス提供者との契約
- ◇ボランティア参加者の選定
- ◇モニタリングデータの収集
- ◇パイロットプロジェクトの実施(車両テスト)
- ◇コミュニケーションとニュース配信
- ◇デモ終了後のデータ照合
- ◇データ分析
- ◇Eモビリティに関する推奨事項の特定

コーディネーター —

研究機関（国名） マルタ政府交通・インフラ省（マルタ）

ホームページ <http://electricvehiclesmalta.eu/>

実施期間 2011 年 9 月～ 2014 年 12 月

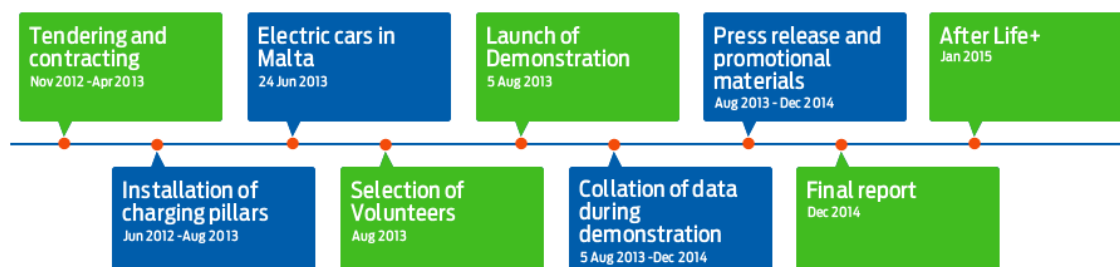
実施地域 マルタ

助成枠組み EU - LIFE

助成母体 EU

プロジェクトパートナー：

- マルタ政府交通・インフラ省（マルタ）
- ゴゾ（島）省（マルタ）
- Enemalta（マルタ）
- Transport Malta（マルタ）



画像出所：プロジェクト HP

MOBILITY 2.0

モビリティ 2.0



当該プロジェクトでは、より正確でエネルギー効率の高いE モビリティを実現するフル EV 向け車載通勤アシスタントの開発とテストを実施する。最大の効果を引き出すために、都市における EV 利用の主要な課題とされる、航続距離に対する不安、公共充電スタンドを備えた駐車スペースの不足、道路の渋滞などに総合的に対処する。

コーディネーター	Andras Kovacs
研究機関（国名）	BroadBit（スロバキア）
ホームページ	http://www.mobility2.eu/
実施期間	2012 年 9 月～ 2015 年 2 月
実施地域	バルセロナ（スペイン）、レッジョ・エミリア（イタリア）
助成枠組み	FP7
助成母体	EU

プロジェクトパートナー：

- BroadBit Slovakia SRO（スロバキア）
- ETRA Investigación y Desarrollo, S.A.（スペイン）
- Barcelona Digital Technology Centre（スペイン）
- The Institute of Communications and Computer Systems（ギリシャ）
- レッジョ・エミリア自治体（イタリア）
- ARMINES（フランス）
- Informatique, Mathématique et Automatique pour la Route Automatisée（フランス）
- トゥウェンテ大学（オランダ）
- Privé S.r.l.（イタリア）
- NEC ヨーロッパ（英国）



画像出所：プロジェクト HP



Modellregion Hamburg: Hamburg-Wirtschaft am Strom

ハンブルクモデル地域の電力経済

当該プロジェクトでは、企業または自治体に最大 740 台の EV を配置して実証試験を行い、第 1 フェーズのモデル地域を形成する。さらに港湾管理、物流、航空など特定地域の産業については、中小企業とハンブルク市の参加が焦点となる。EV の運営能力の見極めと商用目的での日常的な使用の適合性を実証する。

コーディネーター	Heinrich Klingenberg、Peter Lindlahr
研究機関（国名）	hySOLUTIONS GmbH（ドイツ）
ホームページ	http://www.xn--starterset-elektromobilitaet-4hc.de/Infothek/Praxisbeispiele/hamburg-wirtschaft-am-strom
実施期間	～ 2017 年 6 月 30 日
実施地域	ハンブルク（ドイツ）
助成枠組み	連邦交通・建設・都市開発省（ドイツ）
助成母体	DE

プロジェクトパートナー：

- hySOLUTIONS GmbH（ドイツ）
- Finanzbehörde Hamburg（ドイツ）
- HSBA Hamburg School of Business Administration（ドイツ）
- Handelskammer Hamburg（ドイツ）
- メルセデス・ベンツ銀行（ドイツ）
- RCI 銀行（ドイツ）
- フォルクスワーゲン（ドイツ）
- Europcar（フランス）
- ハンブルク・ハールブルグ工科大学（ドイツ）
- ヴァッテンフォール（ドイツ）
- Nationale Organisation Wasserstoff- und Brennstoffzellentechnologie（ドイツ）



画像出所：プロジェクト HP

MyWay

マイウェイ

当該プロジェクトは、統合プラットフォーム「欧州スマートモビリティ・リソース・マネージャー」を研究開発し、実証することを目的としている。これには、クラウドベースのサービスや自治体が提供する情報の収集と処理のサポート業務なども含まれる。効率的かつシームレスな統合と、都市交通網における相補的で定員に制限のあるモビリティ・サービスの使用について、総合的に対処することを目的としている。全ての輸送モード（モーターまたは非モーター、EV、公共交通、オンデマンドなどのフレキシブルなサービス）とモビリティ・シェアリング（カーシェアリング、バイクシェアリング、カープーリングなど）が対象となる。

コーディネーター	Marco Boero
研究機関（国名）	Softeco Sismat Srl（イタリア）
ホームページ	http://myway-project.eu/
実施期間	～ 2016 年 2 月
実施地域	バルセロナ及びカタルーニャ地域（スペイン）、ベルリン（ドイツ）、トリカラ（ギリシャ）
助成枠組み	FP7
助成母体	EU



画像出所：プロジェクト HP

プロジェクトパートナー：

- SOFTECO SISMAT SRL（イタリア）
- ENIDE SOLUTIONS .S.L（スペイン）
- フラウンホーファー研究機構（ドイツ）
- Departament de Territori i Sostenibilitat - Generalitat de Catalunya（スペイン）
- GOING GREEN SL（スペイン）
- CONSULTORIA TECNICA NEXUS GEOGRAFICS S L（スペイン）
- AUTORITAT DEL TRANSPORT METROPOLITA（スペイン）
- チェコ工科大学（チェコ）
- THALES SERVICES SAS（フランス）
- PROMOTION OF OPERATIONAL LINKS WITH INTEGRATED SERVICES, ASSOCIATION INTERNATIONALE（ベルギー）
- INSTITUTE OF COMMUNICATION AND COMPUTER SYSTEMS（ギリシャ）
- アバディーン大学（英国）
- ANAPTYXIAKI ETAIREIA DIMOU TRIKKAION ANAPTYXIAKI ANONYMI ETAIREIA OTA - E-TRIKALA AE（ギリシャ）
- VMZ BERLIN BETREIBERGESELLSCHAFT MBH（ギリシャ）



NEA

Nordic electric avenue

北欧の電力通り

当該プロジェクトではEVのカープール（相乗り）の普及を促進する。北欧4都市（コペンハーゲン・ヘルシンボリ・ヨーテボリ・オスロ）で、既存モデルのEVカープールフリートの構築と拡大を進める。これにより、デンマークのコペンハーゲンからスウェーデン西海岸を経て、ノルウェーのオスロに至る「ノルディック・エレクトリック・アベニュー」（北欧の電力通り）を形成する。

コーディネーター	—
研究機関（国名）	Öresundskraft（スウェーデン）
ホームページ	http://www.nordicenergy.org/project/nordic-electric-avenue/
実施期間	—
実施地域	コペンハーゲン（デンマーク）、ヘルシンボリ、ヨーテボリ（スウェーデン）、オスロ（ノルウェー）
助成枠組み	—
助成母体	—

プロジェクトパートナー：

- Öresundskraft（スウェーデン）
- Move About（スウェーデン、デンマーク、ノルウェー）
- Gröna Bilister（スウェーデン）
- Think Norway（ノルウェー）
- Zero Norway（ノルウェー）

NeMoLand

Neue Mobilität im ländlichen Raum

農村地域における新しいモビリティ

モビリティと交通は、現代社会と経済的な繁栄の証である。独ブレーメンとオルデンプルグ周辺の農村地域でモビリティは常に重要なテーマだったが、経済成長と雇用に与える影響が大きくなった昨今は、さらに重要度が増してきている。このプロジェクトでは次の3つの課題に対処する。

◇Eモビリティの応用

EV導入の実証試験やフリート運用を拡大する。異なる様々なモデルや車両タイプを投入して、プライベートおよび商用利用について検証する。

◇技術コンセプト

プロジェクトで得られた経験や評価に基づいて、新たな技術アプローチを開発し定義する。これには概念的な車両開発や充電技術のほかに、ICTに関するテーマも含まれる。

◇モビリティ効果

Eモビリティが環境、経済、社会、政治に及ぼす影響について評価する。

コーディネーター	Dr.-Ing. Gerald Rausch
研究機関（国名）	フラウンホーファー生産技術・応用マテリアル研究所（IFAM / ドイツ）
ホームページ	https://www.now-gmbh.de/content/4-bundesfoerderung-elektromobilitaet-vor-ort/2-projektfinder/20180820-modellregionen/20160106-bremen-oldenburg/20140630-nemoland/now_projektsteckbrief_03em0400b.pdf
実施期間	2011 年～ 2014 年
実施地域	ブレーメン、オルデンプルグ（ドイツ）
助成枠組み	連邦交通・建設・都市開発省（ドイツ）
助成母体	DE

プロジェクトパートナー：

- フラウンホーファー生産技術・応用マテリアル研究所（IFAM）（ドイツ）
- Deutsches Forschungszentrum für Künstliche Intelligenz (DFKI) GmbH（ドイツ）
- B2M ソフトウェア AG（ドイツ）
- Bremer Energie Institut (BEI)（ドイツ）
- CRIE Centre for Regional and Innovation Economics（ドイツ）
- H2O e-mobile GmbH（ドイツ）
- Institut für integrierte Produktentwicklung (BIK)（ドイツ）
- ヤーコプス大学（ドイツ）

当該プロジェクトでは、Eモビリティの大規模ロールアウトを最適化するとともに、分散型エネルギー資源 (DER) の統合のポテンシャルを最大化するため、欧州の配電事業者 (DSO) 向けに、ネットワーク・プランニングの方法とツールを開発する。

現行のネットワーク操作手順のギャップを特定した上で、EVを制御可能な負荷として管理する技術を通じて、局所的な負荷と輻輳の問題に対処するためのツールとメソッドを更新する。

コーディネーター Armin Gaul

研究機関 (国名) Innogy (ドイツ)

ホームページ https://cordis.europa.eu/project/rcn/109374_en.html

実施期間 2013 年 6 月 ~ 2016 年 2 月

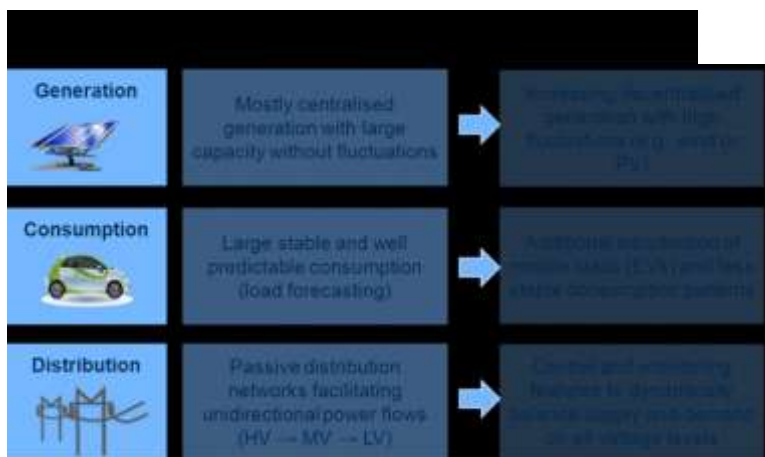
実施地域 アイルランド、ポルトガル、ドイツ、イタリア (いずれも非指定地域)

助成枠組み FP7

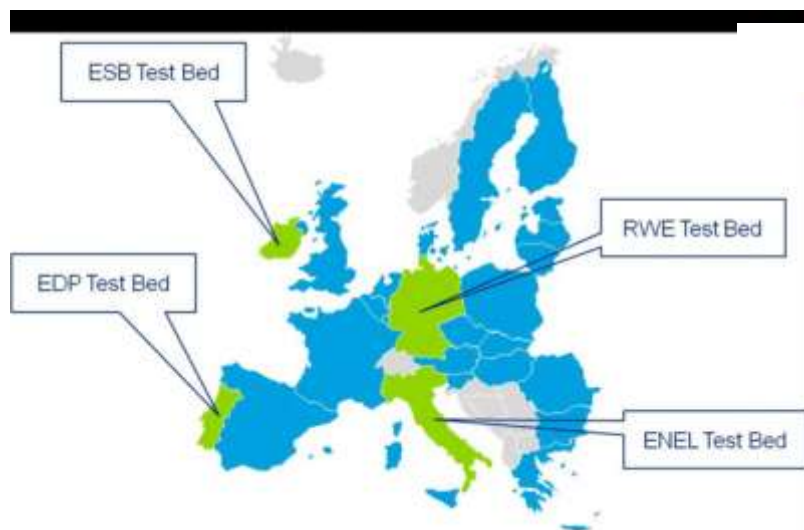
助成母体 EU

プロジェクトパートナー:

- RWE (ドイツ)
- ESB Networks (アイルランド)
- EDP Distribuição (ポルトガル)
- Enel (イタリア)
- Tecalia (スペイン)
- INESC-ID (ポルトガル)
- オーストリア技術研究所 (AIT) (オーストリア)
- トラクテベル・エンジニアリング (ベルギー)
- チューリッヒ工科大学 (スイス)
- ローマ・ラ・サピエンツァ大学 (イタリア)
- ドルトムント工科大学 (ドイツ)
- ルノー (フランス)



画像出所: プロジェクト HP



Port PVEV

港のPVEV

イタリアとマルタの3つの港湾都市でエネルギー効率の改善とEモビリティの活用について検証する。港湾エリアにおけるカーボンニュートラルの実現を目指すプロジェクトで、マルタの首都バレッタ、イタリアのカターニアとジェーラの港湾地区に太陽光発電インフラを設置し、その周辺地域でEモビリティの実証試験を行う。

コーディネーター	Ms. Alexandra Ellul
研究機関（国名）	マルタ交通局（マルタ）
ホームページ	http://www.portpvev.eu
実施期間	2012 年 9 月～ 2015 年 1 月
実施地域	カターニア、ジェーラ（イタリア）、 バレッタ（マルタ）
助成枠組み	PO-Italia Malta
助成母体	EU

プロジェクトパートナー：

- マルタ交通局（マルタ）
- カターニア港湾局（イタリア）
- マルタ交通インフラ省（マルタ）
- カルタニセッタ自治体（イタリア）



画像出所：プロジェクト HP

SAVE THE DATE!
Conferenza per la presentazione
dei risultati del progetto
PORT PVEV
PHOTOVOLTAIC ELECTRIC VEHICLE
Progetto collaborativo del Sistema Europeo integrato nel PT della Sicilia 2013-2020

Venerdì 19 giugno 2015
ore 9.00
Chiesa San Biagio
Largo San Biagio - GELA

Exhibit dei veicoli 100% elettrici

Electric ➡

PraxPerform E

PRAXPERFORM E – BEWERTUNG DER PRAXISTAUGLICHKEIT UND UMWELTPERFORMANCE VON ELEKTRO-PKW UND NUTZFAHRZEUGEN

プラックス・パフォーマンス E

当該プロジェクトは、乗用車と軽商用車分野における EV およびハイブリッド車（HV）の実用性と環境性能を評価する手法を開発することを目指す。そのために、異なるモデル地域で行われる様々なプロジェクトで使用する EV・HV の長期的な計測データを検証するための統一的な基準を策定する。

コーディネーター	Michael Held
研究機関（国名）	フラウンホーファー建築物理研究所（ドイツ）
ホームページ	https://www.now-gmbh.de/de/bundesfoerderung-elektromobilitaet-vor-ort/projektfinder/elektromobilitaet-vor-ort/praxperform-e
実施期間	2013 年 5 月 1 日～ 2015 年 7 月 31 日
実施地域	ドイツ
助成枠組み	連邦交通・建設・都市開発省（ドイツ）
助成母体	DE

プロジェクトパートナー：

- フラウンホーファー建築物理研究所（ドイツ）



画像出所： <http://www.lbp-gabi.de/>

PRIMOVE

Primove Braunschweig - Erstanwendung der Elektromobilität über Induktion im Bus-Linienverkehr in Braunschweig

ブラウンシュバイク市における電磁誘導方式で充電する電気バスの導入

当該プロジェクトでは、独ブラウンシュバイク市のバス路線の一つ（M19 系）にワイヤレス充電式のフル電気バスを導入して、ボンバルディア社製ワイヤレス充電技術「PRIMOVE」を検証する。乗客が乗降する時間を使って、停留所に埋め込まれたパッドから充電することで、10 分間隔で遅延なく運行することを可能にしている。

コーディネーター	Dana Hahn
研究機関（国名）	ボンバルディア・トランスポートーション（ドイツ）
ホームページ	http://primove.bombardier.com/de/projekte/europa/deutschland-braunschweig-primove-e-bus.html
実施期間	2012 年 6 月 1 日～ 2014 年 2 月 28 日
実施地域	ブラウンシュバイク、マンハイム（ドイツ）
助成枠組み	連邦交通・建設・都市開発省（ドイツ）
助成母体	DE

プロジェクトパートナー：

- Braunschweiger Verkehrs-AG（ドイツ）
- ボンバルディア・トランスポートーション（ドイツ）
- BS ENERGY Braunschweiger Versorgungs-Aktiengesellschaft & Co. KG（ドイツ）
- ブラウンシュバイク工科大学（ドイツ）



画像出所：プロジェクト HP



画像出所：ボンバルディア社 HP

QS InfraPlan e-mobil

Qualification Seminar „Future Solutions of Infrastructure Planning for Electromobility“

技術セミナー “E モビリティのためのインフラ計画と未来の解決法 “

E モビリティに関する話題が増えたことから、市場ではそのコンセプトや充電インフラの整備計画に関する関心が高まっている。当該プロジェクトには整備計画の立案者も参加し、専門家の知識も活かされる。しかし、未来のインフラ整備問題を解決するには EV やバッテリー、充電技術などの電子工学的な知識も必要となる。

コーディネーター —

研究機関（国名） im-plan-tat Raumplanungs GmbH & Co KG（オーストリア）

ホームページ https://www.ea.tuwien.ac.at/projekte/qs_e_mob/

実施期間 2014 年 10 月～ 2015 年 3 月

実施地域 オーストリア

助成枠組み 連邦科学研究省（オーストリア）

助成母体 AT

プロジェクトパートナー：

- im-plan-tat Raumplanungs GmbH & Co KG（オーストリア）
- ウィーン工科大学 ESEA（オーストリア）
- Energy Changes Projektentwicklung GmbH [EC]（オーストリア）
- Spectra Today GmbH [SpT]（オーストリア）

2013年に実施されたプロジェクトで、EV向け充電インフラの開発と管理に取り組んだ。

コーディネーター	—	プロジェクトパートナー： ※詳細不明
研究機関（国名）	—	
ホームページ	—	
実施期間	2013 年	
実施地域	ティチーノ州（スイス）	
助成枠組み	—	
助成母体	スイス	

RUHRAUTOe

ルール地方のEV

当該プロジェクトでは、ドイツのルール地方 8 都市の住宅地および市街地に 45 台の EV を投入して、27 のカーシェアリングネットワークを構築する。EV のステーションは電車、バス、市電など公共交通の停留所と連結させる。このように住宅地へのアクセスを含むアプローチにより、住民それぞれに公共交通と E モビリティを組み合わせた最適なモビリティサービスを提供する方法を探る。

コーディネーター	ー
研究機関（国名）	デュースブルク＝エッセン大学（ドイツ）
ホームページ	http://www.ruhrauto-e.de/
実施期間	2012 年秋～ 18 カ月
実施地域	ライン・ルール地方（ドイツ）
助成枠組み	連邦交通・建設・都市開発省（ドイツ）
助成母体	DE

プロジェクトパートナー：

- デュースブルク＝エッセン大学（ドイツ）
- Verkehrsverbund Rhein-Ruhr AöR / Essener Verkehrs-AG（ドイツ）
- Vivawest Wohnen GmbH（ドイツ）
- Drive CarSharing GmbH（ドイツ）
- Die D+S Automotive GmbH（ドイツ）

※他、アソシエイトパートナー多数



画像出所：プロジェクト HP





SCELECTRA

Scenarios for the Electrification of Transport

輸送の電化に向けたシナリオ

当該プロジェクトでは、欧州における未来のEモビリティのあり方を描く。EVやハイブリッド車の普及を促進させるための最善の方法を見つけ出すために、経済、環境、政治、技術の側面から、さまざまなアプローチを試みる。

コーディネーター	Simon Vinot
研究機関（国名）	IFP Energies nouvelles（フランス）
ホームページ	http://projet.ifpen.fr/Projet/jcms/xnt_79165/fr/scelectra/
実施期間	2012年7月1日～2015年6月30日
実施地域	オーストリア、ドイツ、フランス
助成枠組み	ERA NET(EU)EU+Countries
助成母体	EU,FR,DE,AT

プロジェクトパートナー：

- IFP Energies nouvelles（フランス）
- フランス運輸・整備・ネットワーク科学技術研究所(IFSTTAR)（フランス）
- KANLO SARL（フランス）
- PE International（ドイツ）
- エネルギーに関する欧州研究所 EIFER（ドイツ）

SELECT

Suitable electromobility for commercial transport

商用輸送に適したE モビリティ

欧州連合（EU）ならびにオーストリア、デンマーク、ドイツの政府が助成するプロジェクト。EV が商用輸送において、いかに持続可能性に貢献するかを検証する。

コーディネーター	Dr. rer. pol. Jens Klauenberg
研究機関（国名）	ドイツ航空宇宙センター DLR （ドイツ）
ホームページ	http://www.dlr.de/vf/en/desktopdefault.aspx/tabid-958/4508_read-35688/4508_page-2/
実施期間	2012 年 8 月～ 2015 年 6 月
実施地域	ドイツ、オーストリア、デンマーク
助成枠組み	ERA NET (EU) + Countries
助成母体	EU, DE, AT, DK

プロジェクトパートナー：

- ドイツ航空宇宙センター DLR（ドイツ）
- デンマーク工科大学（DTU）
（デンマーク）
- オーストリア技術研究所 AIT
（オーストリア）
- CLEVER A/S（デンマーク）
- Consilio Information Management GmbH
（オーストリア）
- Reffcon（オーストリア）

SMARTFUSION

Smartfusions:Smart Urban Freight Solutions

スマートフュージョン～都市のスマートな物流ソリューション



このプロジェクトでは、3都市（英国のニューキャッスル、イタリアのコモ、ドイツのベルリン）について、既存の都市物流開発戦略に基づいた官民パートナーシップを構築し、共同のスマート都市物流ソリューションと都市内・都市間サプライヤーチェーンにおける持続可能な流通について実証する。

コーディネーター —

研究機関（国名） NewRail（ニューカッスル大学鉄道研究センター）（英国）

ホームページ <http://www.smartfusion.eu/>

実施期間 2012 年～ 2015 年

実施地域 ニューキャッスル（英国）、コモ（イタリア）、ベルリン（ドイツ）

助成枠組み FP7

助成母体 EU

プロジェクトパートナー：

- NewRail（ニューカッスル大学鉄道研究センター）（英国）
- ベルリン市（ドイツ）
- BEHALA（ドイツ）
- フィアット中央研究所（イタリア）
- Clipper Logistics plc（英国）
- Gruppo CLAS（イタリア）
- NEA（ドイツ）
- IRU（スイス）
- ニューカッスル市議会（英国）
- オフィスデポー（オランダ）
- PTV グループ（英国）
- ウェストミンスター大学（英国）
- ボルボグループ（スウェーデン）



画像出所：プロジェクト HP



当該プロジェクトは、英ブリストル市をはじめ、バース・アンド・ノース・イースト・サマセット、南グロスターシャー、北サマセットとグロスターシャーなどの英国南西部へのEVの導入を促進する。英国の「持続可能な地方輸送基金」（LSTF）が拠出する資金を使って、EV用の充電インフラを整備するほか、欧州委員会のEVユーザーエクスペリエンス強化プロジェクト（IGT 4 EVEU）の枠組みで、EV向けの新しいデジタル・通信技術の展開を図る。

ブリストルのパイロットプロジェクトでは以下の3つのサービスを提供する。

◇電気自動車に関する有用な情報や充電ステーションの整備状況を掲載したサイトを定期的に更新する。このサイトではソーシャルメディアなども駆使して、EVの利用を促進する。

◇複数の異なる充電スタンド間で相互運用できるソフトを提供する。

◇アンドロイドと iPhone 向けのスマホアプリを提供する。このアプリは最適な公共充電スタンドを探したり、料金の安全な決済に利用できる。

コーディネーター	Marius Jennings
研究機関（国名）	ブリストル市（英国）
ホームページ	https://travelwest.info/drive/electric-vehicles
実施期間	不明
実施地域	ブリストル
助成枠組み	EU, UK's Local Sustainable Transport Fund (LSTF)
助成母体	UE, UK

プロジェクトパートナー：

- ブリストル市（英国）
- バース・アンド・ノース・イースト・サマセット自治体（英国）
- 南グロスターシャー自治体（英国）
- グロスターシャー自治体（英国）



画像出所：プロジェクト HP

Sozialwissenschaftliche und ökologische Begleitforschung

≫ Allianz Elektromobilität ≪

社会科学及びエコロジー的付随研究 “E モビリティ同盟”

モデル地域で行われるバラエティに富んだプロジェクトは、研究の可能性を秘めている。「E モビリティ同盟」では、定量的調査、深層インタビュー、モビリティの科学的な分析などが行われる。

コーディネーター	Prof. Dr. Martin Lanzendorf
研究機関（国名）	ヨハン・ヴォルフガング・ゲーテ大学フランクフルト・アム・マイン人文地理学科（ドイツ）
ホームページ	http://www.uni-frankfurt.de/46613232/pfs_EMOB_wk.pdf?
実施期間	2012 年 5 月 1 日～ 2015 年 7 月 31 日
実施地域	ライン・マイン地方（ドイツ）
助成枠組み	連邦交通・建設・都市開発省（ドイツ）
助成母体	DE

プロジェクトパートナー：

- Fachhochschule Frankfurt（ドイツ）
- ヨハン・ヴォルフガング・ゲーテ大学フランクフルト・アム・マイン人文地理学科（ドイツ）
- e-hoch3（ドイツ）



SPEED FOR SME's

中小企業のためのスピーディーな開発

当該プロジェクトの目標は、E モビリティ分野の部品サプライヤー向けに、従来よりも短期かつ費用対効果の良い方法で部品の開発・検査ができるツールを作成すること。主な対象となるのは、自動車部品業界の中小企業。

コーディネーター	Roman Eder
研究機関（国名）	EDER GmbH（ドイツ）
ホームページ	http://electromobility-plus.eu/wp-content/uploads/speed-for-smes.pdf
実施期間	2012 年 4 月 1 日～ 2015 年 3 月 31 日
実施地域	オーストリア、ドイツ
助成枠組み	ERA NET (EU) + Countries
助成母体	EU, AT, DE

プロジェクトパートナー：

- Eder GmbH（ドイツ）
- Lagermax Autotransport GmbH（オーストリア）
- TIC Steyr GmbH（オーストリア）
- LKR Leichtmetallkompetenzzentrum Ranshofen GmbH（オーストリア）
- Lightweight Energy GmbH（オーストリア）
- Smart e-Mobility GmbH（オーストリア）
- Stohl Racing GmbH（オーストリア）
- Clusterland OÖ GmbH（オーストリア）
- Automobil-Cluster（オーストリア）
- Goodville Consulting GmbH（オーストリア）

STRAIGHTSOL

Strategies and measures for smarter urban freight solutions

よりスマートな都市型物流ソリューションのための戦略と基準

当該プロジェクトは以下の3つを主な目的とする。

◇都市内貨物輸送と都市間貨物輸送の橋渡しについて、新たな影響評価の枠組みを策定する

◇欧州における都市内貨物輸送・都市間貨物輸送の改善について、ショーケース的なデモをセットでサポートする

◇ライブデモに影響評価の枠組みを適用し、未来の物流政策に対する具体的な提言を行う

コーディネーター Jardar Andersen

研究機関（国名） Transportøkonomisk institutt
（ノルウェー）

ホームページ <http://www.straightsol.eu/>

実施期間 2011 年 9 月～ 2014 年 8 月

実施地域 ブリュッセル、バルセロナ、テッサロニキ、リスボン、オスロ、英国南部

助成枠組み FP7

助成母体 EU

プロジェクトパートナー：

- Transportøkonomisk institutt（ノルウェー）
- ブリュッセル自由大学（ベルギー）
- CERTH / HIT (Centre for Research and Technology Hellas / Hellenic Institute of Transport)（ギリシャ）
- サウサンプトン大学（英国）
- Instituto Superior Tecnico（ポルトガル）
- Centre d'Innovació del Transport（スペイン）
- Nederlandse Organisatie voor Toegepast Natuurwetenschappelijk Onderzoek（オランダ）
- リュブリャナ大学建築学部（スロベニア）
- Kuehne+Nagel Societe Anonyme for Transports & Logistics（ギリシャ）
- Oxfam（英国）
- DHL Supply Chain（スペイン）
- Ajuntament de l'Hospitalet de Llobregat（スペイン）
- EMEL - Empresa Municipal de Estacionamento de Lisboa, EEM（ポルトガル）
- TNT Express（ベルギー）
- GS1（ノルウェー）
- Colruyt（ベルギー）
- Delhaize（ベルギー）



画像出所：プロジェクト HP

TeBALE

Technische Begleitforschung ≫ Allianz Elektromobilität ≪

技術的付随研究 “E モビリティ同盟”

EVの一般的、技術的な課題について、プロジェクトを横断的な見地から見直しを行う。特に「Eモビリティ同盟」と関連のあるプロジェクトテーマを重点的に扱う。

コーディネーター Markus Landau

研究機関（国名） フラウンホーファー風力エネルギーシステム研究所（IWES）（ドイツ）

ホームページ <https://www.offenbach.de/stadtwerke/microsite/e-wie-offenbach/projektleitstelle-elektromobilitaet/technische-begleitforschung.php>

実施期間 2012 年 11 月 1 日～ 2015 年 10 月 31 日

実施地域 ライン・マイン地方（ドイツ）

助成枠組み 426

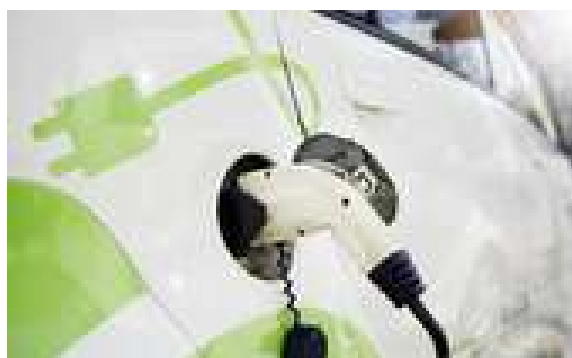
助成母体 DE

プロジェクトパートナー：

- フラウンホーファー風力エネルギーシステム研究所（IWES）（ドイツ）



画像出所：プロジェクト HP





THELMA

Technology-centered Electric Mobility Assessment

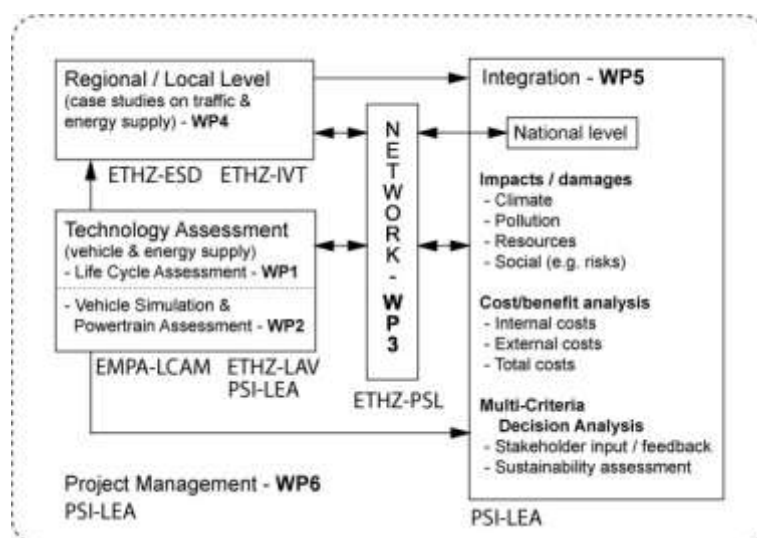
技術的な見地に基づくEモビリティの評価

当該プロジェクトは、スイスの物流セクターにおけるEVの可能性について技術に基いて評価する統合アセスメントである。現在と未来のEVと非EVについて、環境、経済、社会的なパフォーマンスを物流需要の予測やフリートの普及シナリオ、スイスの電力網の需要、コスト、信頼性による充電パターンの変化などを組み合わせて検証する。

コーディネーター	Dr. Stefan Hirschberg
研究機関（国名）	Paul Scherrer Institut (PSI) / Laboratory for Energy Systems Analysis (LEA)（スイス）
ホームページ	http://www.thelma-emobility.net/overview.html
実施期間	2010 年 4 月～
実施地域	スイス
助成枠組み	—
助成母体	CH

プロジェクトパートナー：

- Life Cycle Assessment and Modelling (LCAM)（スイス）
- Aerothermochemistry and Combustion Systems Laboratory (ACL, LAV)（スイス）
- Power Systems Laboratory (PSL)（スイス）
- Ecological Systems Design (ESD)（スイス）
- Institute for Transport Planning and Systems (IVT)（スイス）
- Laboratory for Energy Systems Analysis (LEA)（スイス）



画像出所：プロジェクト HP

TROLLEY

トロリー

当該プロジェクトは、中欧都市のアクセシビリティを向上させることを目標としている。トロリーバスが最もクリーンで経済的な交通手段であることを実証し、その普及を促進する。オーストリア、チェコ、ドイツ、ポーランド、ハンガリー、イタリアの6カ国の都市交通企業9社が当該プロジェクトの枠組みの下に協力する。

コーディネーター	—
研究機関（国名）	ザルツブルク AG（オーストリア）
ホームページ	www.trolley-project.eu
実施期間	2010年2月1日～2013年1月31日
実施地域	エーベルスヴァルデ（ドイツ）、セゲド（ハンガリー）、ブルノ（チェコ）、グディニャ（ポーランド）、パルマ（イタリア）
助成枠組み	EU - INTERREG IVB CENTRAL EUROPE Programme
助成母体	EU

プロジェクトパートナー：

- ザルツブルク AG（オーストリア）
- ブルノ市（チェコ）
- Barnim Bus GmbH（ドイツ）
- パルマ市（イタリア）
- ライプチヒ交通局（ドイツ）
- グディニャ市（ポーランド）
- グダニスク大学（ポーランド）
- セゲド交通社（ハンガリー）
- Trolley Motion（オーストリア）



画像出所：プロジェクト HP



UI ElMo

Unternehmensinitiative Elektromobilität

企業の取り組み～電気自動車

当該プロジェクトでは、独ブレーメンのネールセン社の協力のもと、3年間にわたって実用的なEVの普及をテストする。2011年11月には80社以上がプロジェクトへの参加を表明している。独ブレーメン／オルデンブルクのモデル地域で、EV約160台が導入され、充電スポット約200カ所が整備される。プロジェクトで使用する車両や充電スポットはネールセン社が参加企業に支給する。

コーディネーター	Dipl.-Inf. Michael Rohn
研究機関（国名）	DFKI GmbH（ドイツ）
ホームページ	https://robotik.dfki-bremen.de/de/forschung/projekte/ui-elmo.html
実施期間	2012年10月1日～2016年9月30日
実施地域	ブレーメン、オルデンブルグ（ドイツ）
助成枠組み	連邦交通・建設・都市開発省（ドイツ）
助成母体	DE

プロジェクトパートナー：

- DFKI GmbH（ドイツ）
- Nehlsen AG（ドイツ）
- HWT Wärme Technik Hansen（ドイツ）
- Move About（ドイツ）
- Emigholz（ドイツ）



画像出所：プロジェクト HP

W-eTaxi

E-Taxis für Wien

ウィーンの電動タクシー

気候・エネルギー基金が資金提供するこのプロジェクトでは、ウィーンにおける電動タクシーの運営状況を調査する。その過程で、法律、組織、技術、経済の各分野に係る重要な課題に取り組んでいく。

コーディネーター	—
研究機関（国名）	Neue Urbane Mobilität Wien GmbH （オーストリア）
ホームページ	http://www.ea.tuwien.ac.at/projects/w_etaxi/EN/
実施期間	2014 年 3 月～ 10 月
実施地域	ウィーン（オーストリア）
助成枠組み	E-Mobilität fuer alle: Urbane Elektromobilität, Phase 1
助成母体	—



画像出所： <http://www.vienna.at>



プロジェクトパートナー：

- Neue Urbane Mobilität Wien GmbH（オーストリア）
- Wiener Stadtwerke（オーストリア）
- Wien Energie（オーストリア）
- Wirtschaftskammer Wien-Fachgruppe Taxi Mietwagen（オーストリア）
- Taxi 31300（オーストリア）
- ウィーン工科大学（オーストリア）
- オーストリア技術研究所／AIT（オーストリア）
- tbw research（オーストリア）
- ウィーン市（オーストリア）
- Wiener Netze Stromnetz / Netzmanagement（オーストリア）
- Taxi 40100/60160（オーストリア）
- Austrosoft（オーストリア）
- SMILE（オーストリア）
- ウィーンモデル地域（オーストリア）

ZEEUS

Zero Emission Urban Bus System

ゼロエミッション都市バスシステム

当該プロジェクトでは、バスシステムの電化をめぐる最新の課題に取り組む。大容量バッテリーの電気バスを開発するとともに、そのバスが必要とする電力を供給できる、グリッドバランシングと停電リスクに配慮したインフラの構築を目指す。

コーディネーター Umberto Guida

研究機関（国名） UNION INTERNATIONALE DES TRANSPORTS PUBLICS（ベルギー）

ホームページ <http://zeeus.eu/>

実施期間 2013 年 11 月 1 日～2018 年 4 月

実施地域 バルセロナ（スペイン）、ボン、ミュンスター（ドイツ）、ピルスナー（チェコ）、ローマ（イタリア）、ロンドン、グラスゴー（英国）、ストックホルム（スウェーデン）

助成枠組み FP7

助成母体 EU



※プロジェクト実施地域（濃灰色）

プロジェクトパートナー：

- TRANSPORTS DE BARCELONA SA（スペイン）
- ENDESA SA（スペイン）
- ENIDE SOLUTIONS .S.L（スペイン）
- カタルーニャ工科大学（スペイン）
- IDIADA AUTOMOTIVE TECHNOLOGY SA（スペイン）
- AZIENDA PER LA MOBILITA DEL COMUNE DI ROMA SPA（イタリア）
- D'APPOLONIA SPA（イタリア）
- アーヘン工科大学（ドイツ）
- HELMUT BERENDS（ドイツ）
- フラウンホーファー研究機構（ドイツ）
- ソラリスバス＆コーチSA（ポーランド）
- シュコダエレクトリック a.s.（チェコ）
- ボルボバス（スウェーデン）
- STADTWERKE MUNSTER GmbH（ドイツ）
- ZAPADOCESKA UNIVERZITA V PLZNI（チェコ）
- GRUPO MECANICA DEL VUELO SISTEMAS S.A.（スペイン）
- UNION OF THE ELECTRICITY INDUSTRY - EURELECTRIC AISBL（ベルギー）
- ランツフト応用科学大学（ドイツ）
- VDL BUS & COACH BV（オランダ）
- VATTENFALL RESEARCH AND DEVELOPMENT AB（スウェーデン）
- STADTWERKE BONN VERKEHRS-GMBH（ドイツ）

※次ページに続く

ZEEUS

Zero Emission Urban Bus System

ゼロエミッション都市バスシステム ※前ページの続き

プロジェクトパートナー：

- PLZENSKÉ MESTSKÉ DOPRAVNÉ PODNIKY AS (チェコ)
- PLZENSKÁ TEPLARENSKÁ AS (チェコ)
- ストックホルム県ランスティング (スウェーデン)
- ロンドン交通局 (英国)
- TRANSPORT & TRAVEL RESEARCH LTD (英国)
- TRL LIMITED (英国)
- TEKNOLOGIAN TUTKIMUSKESKUS VTT (フィンランド)
- ALEXANDER DENNIS LTD (英国)
- THINKSTEP AG (ドイツ)
- ローマ・ラ・サピエンツァ大学 (イタリア)
- ASSTRA - ASSOCIAZIONE TRASPORTI (イタリア)
- RISE VIKTORIA AB (スウェーデン)
- Verband Deutscher Verkehrsunternehmen (ドイツ)
- POLIS - PROMOTION OF OPERATIONAL LINKS WITH INTEGRATED SERVICES, ASSOCIATION INTERNATIONALE (ベルギー)
- SCOTTISH AND SOUTHERN ENERGY PLC (英国)
- UNION DES TRANSPORTS PUBLICS (フランス)
- STRATHCLYDE PARTNERSHIP FOR TRANSPORT (英国)
- IRIZAR S COOP (スペイン)



画像出所：プロジェクト HP





Zem2All

Zero Emissions Mobility To All

全市民のためのゼロエミッション・モビリティ

当該プロジェクトは、全ての市民がゼロエミッションモビリティを利用できるようにする先駆的な取り組みである。Eモビリティは、排気ガスを出さないだけでなく、その高いエネルギー効率性から、未来のモビリティで重要な役割を担うことが期待されている。このプロジェクトはゼロエミッションモビリティの機能に関する実証的で決定的なテストを実施する。この取り組みを通じて、未来の都市に及ぼすEモビリティの影響や管理方法を学ぶことができる。

当該プロジェクトは、スマートシティの運営において世界的な草分けであるスペインのマラガ市の参加なくしては考えられない。同市は、エネルギー大手の伊エネルと西エンデサが推進する「スマートシティ・マラガ」で、すでに5年以上の実績があるからだ。

コーディネーター —

研究機関（国名） Endesa（スペイン）

ホームページ <http://www.zem2all.com/>

実施期間 2012 年～ 2016 年

実施地域 スペイン

助成枠組み —

助成母体 ES

プロジェクトパートナー：

- Endesa（スペイン）
- Telefónica（スペイン）
- Ayesa（スペイン）
- マラガ市（スペイン）
- Mitsubishi Heavy Industries（日本）
- Mitsubishi Corporation（日本）
- Hitachi（日本）



画像出所：<http://www.visitcostadelsol.com/whats-on/icc-zem2all-information-and-control-centre-zero-emission-mobility-to-all-p72991>



画像出所：<https://www.energynews.es/english/zem2all-spains-largest-electric-mobility-project-ends-after-four-years/>

ZENEM

Zukünftige Energienetze mit Elektromobilität

電気自動車と未来の送電網

当該プロジェクトでは、将来的に負荷が大きくなることが予想される EV の送電網への統合について、その実現可能性を評価する。EV の普及率が高くなれば（特に乗り場が決められる電気タクシーでは顕著だが）、電力需要が 1 ヲ所に集中する恐れがある。電気タクシーが配電網に及ぼす影響について総合的に検証する。

コーディネーター	Markus LITZLBAUER, MSc Dipl.-Ing. Andreas Schuster
研究機関（国名）	ウィーン工科大学（オーストリア）
ホームページ	http://www.ea.tuwien.ac.at/projects/zenem/EN/
実施期間	2011 年 5 月～ 2013 年 4 月
実施地域	オーストリア
助成枠組み	Klima- und Energiefonds in the programme "NEUE ENERGIEN 2020"
助成母体	AT

プロジェクトパートナー：

- ウィーン工科大学（オーストリア）
- オーストリア技術研究所モビリティ／AIT（オーストリア）
- Taxi 31300 VermittlungsgmbH（オーストリア）
- Wien Energie Stromnetz GmbH（オーストリア）



画像出所：プロジェクト HP



Zero-Emission Urban Distribution

排出ゼロの都市型物流

都市内物流（引っ越し、フード宅配、小包宅配）にフル電気トラックを導入するデモプロジェクト。充電インフラ（380V、64A）を宅配業者に設置する。すでに、オランダ・ハイトラック（Hytruck）製の貨物用電気自動車 9 台を発注済みで、2013 年にも最初のトラックが配備される。配備される車両は 12 ～ 18 トンで、航続距離は 150 ～ 250 km（車載電池：120-240kWh）。

コーディネーター —

研究機関（国名） —

ホームページ —

実施期間

実施地域 アルメレ、アムステルダム、アーネム、ベーフェルウェイク、カストリクム、ハウテン、ミッデン・ベームステル、リッデルケルク（オランダ）

助成枠組み —

助成母体 NL

プロジェクトパートナー：

※詳細不明

EUの電気駆動車オープンイノベーションプロジェクト2010-2017

2018年7月 第1版発行

編集 FBC Business Consulting GmbH

発行所 FBC Business Consulting GmbH
August-Schanz-Str. 8
60433 Frankfurt am Main, Germany
Tel. : +49 (0)69 5480 950
Fax : +49 (0)69 5480 9525
<http://www.fbc.de>

本書の内容を許可なく無断で複製、複製、引用し、印刷物やメディアに転載・転用することは、著作権の侵害および発売元の権利を侵害することになります。

Copyright© 2018 FBC Business Consulting GmbH, All Rights Reserved.